

丸亀市総合計画策定に係るアンケート

【調査結果】

1. 調査の概要	
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の方法等	1
(3) 調査の内容	1
2. 調査の結果	
(1) 回答者の属性	2
(2) 現在の丸亀市について	3
(3) 将来の丸亀市について	6
(4) 丸亀市の取り組みについて	11
3. 前回調査（平成22年実施）との比較	
(1) 丸亀市の魅力と定住意向	15
(2) 取り組みに対する満足度の変化	17
4. 自由意見	
まちづくり全般に対する意見・要望	18

1 調査の概要

(1) 調査の目的

次期丸亀市総合計画の策定にあたり、市民が日常生活の中で感じていることや、現在の取り組みに対する満足度と今後の重要度、また前回（平成22年度）調査時と比べた市民意識の変化などを把握し、新たなまちづくりの方向性や実現方策を導き出すことを目的とする。

(2) 調査の方法等

対象	16歳以上の市民（住民基本台帳より無作為抽出）
方法	郵送配布、郵送回収
時期	平成28年4月～5月
その他	配布数：3,000票、回収数1,255票（回収率：41.8%）

(3) 調査の内容

項目	設問内容	
回答者の属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	居住地区（コミュニティ単位）
	問4	丸亀市での居住期間
現在の丸亀市について	問5	丸亀市の魅力だと感じる点
	問6	丸亀市の魅力が乏しいと感じる点
	問7	丸亀市での定住意向
将来の丸亀市について	問8	まちの将来の姿
丸亀市の取り組みについて	問9	現在の満足度と今後の重要度

2 調査の結果

(1) 回答者の属性

●問1. 性別、●問2. 年齢

区分	男性	女性	無回答	総計	(%)
1. 16～19歳	15	21	0	36	2.9
2. 20～29歳	42	48	1	91	7.3
3. 30～39歳	68	88	4	160	12.8
4. 40～49歳	77	105	5	187	14.9
5. 50～59歳	88	133	1	222	17.7
6. 60～69歳	131	132	4	267	21.3
7. 70歳以上	130	129	19	278	22.2
無回答	2	2	10	14	1.1
総計	553	658	44	1,255	100.0
(%)	44.1	52.4	3.5	100.0	

●問3. 居住地区（コミュニティ単位）

区分	総計	(%)
1. 城北コミュニティ	73	5.8
2. 城西コミュニティ	60	4.8
3. 城乾コミュニティ	42	3.4
4. 城坤コミュニティ	132	10.5
5. 城南コミュニティ	95	7.6
6. 土器コミュニティ	116	9.2
7. 飯野コミュニティ	69	5.5
8. 川西コミュニティ	67	5.3
9. 郡家コミュニティ	142	11.3
10. 垂水コミュニティ	65	5.2
11. 本島コミュニティ	4	0.3
12. 広島コミュニティ	2	0.2
13. 栗熊コミュニティ	26	2.1
14. 岡田コミュニティ	53	4.2
15. 富熊コミュニティ	52	4.1
16. 飯山南コミュニティ	66	5.3
17. 飯山北コミュニティ	121	9.6
18. 不明	51	4.1
無回答	19	1.5
総計	1,255	100.0

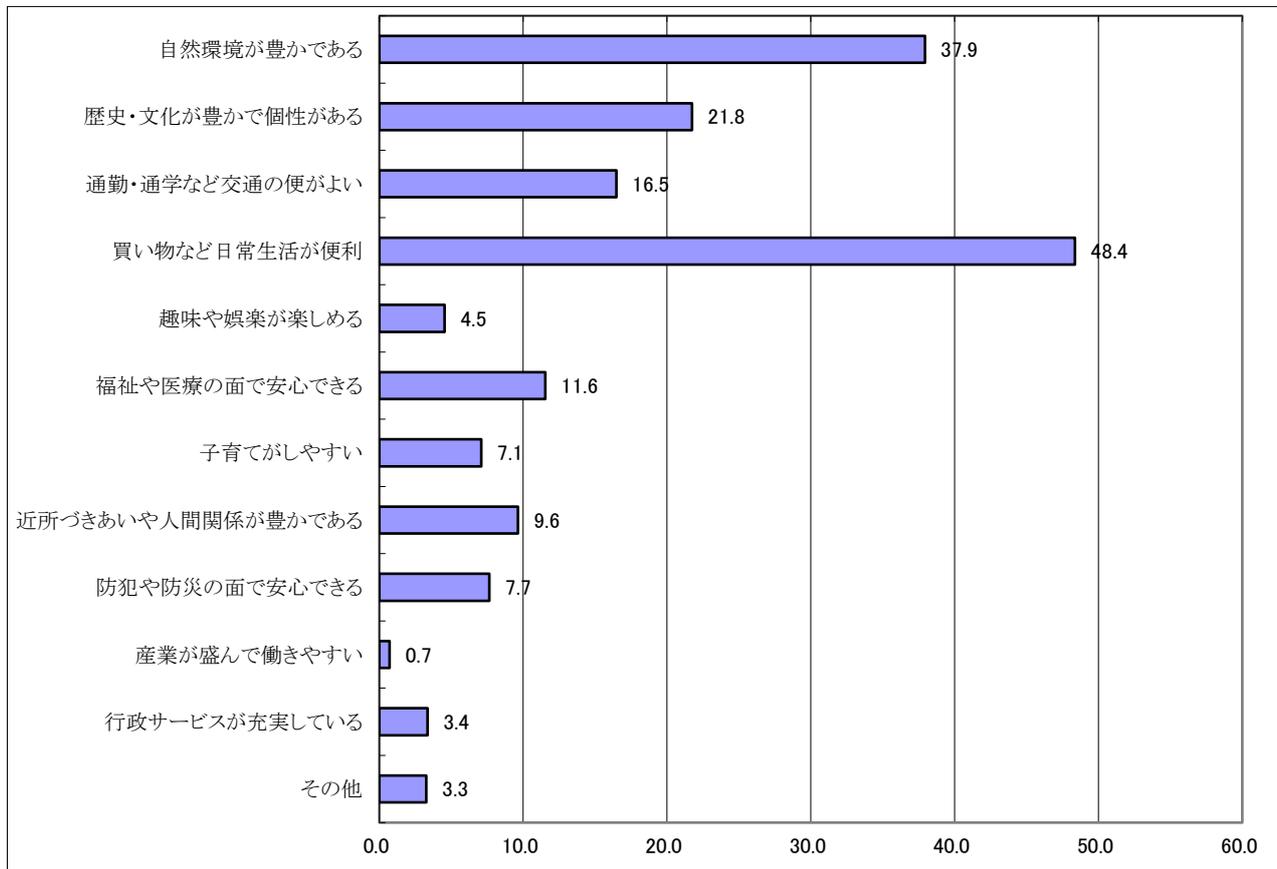
●問4. 居住期間

区分	総計	(%)
1. 1年未満	29	2.3
2. 1年以上 3年未満	54	4.3
3. 3年以上 5年未満	37	3.0
4. 5年以上 10年未満	81	6.5
5. 10年以上 20年未満	196	15.6
6. 20年以上	848	67.6
無回答	10	0.8
総計	1,255	100.0

(2) 現在の丸亀市について

●問5. 丸亀市の魅力だと感じる点（2つまで回答）

- ・「買い物など日常生活が便利」が最も多く、次いで「自然環境が豊かである」との回答が多く、丸亀市の魅力として捉えられている。



(年齢階層別の状況)

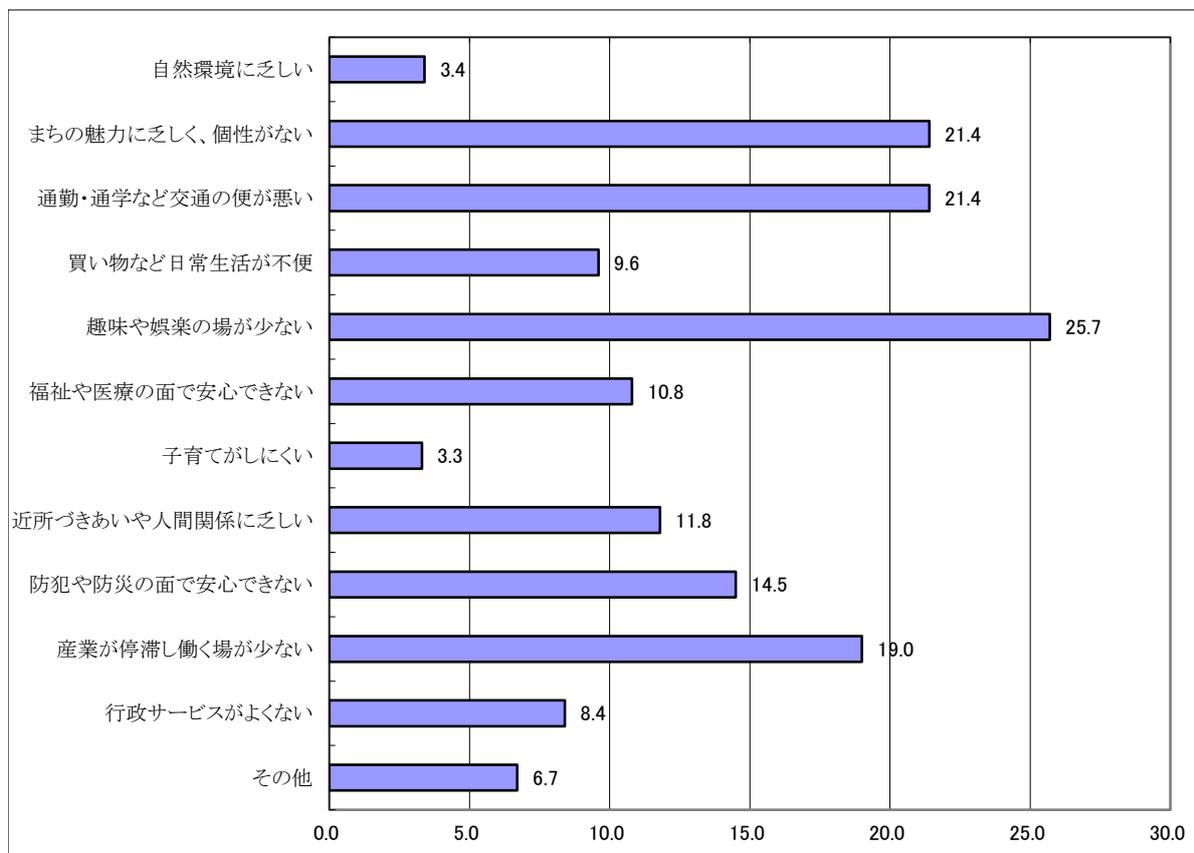
区分		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1	自然環境が豊かである	50.0	28.6	26.9	25.1	42.3	40.4	48.9	37.9
2	歴史・文化が豊かで個性がある	13.9	22.0	16.3	25.7	22.1	20.6	24.8	21.8
3	通勤・通学など交通の便がよい	25.0	18.7	21.3	24.1	20.3	10.9	9.7	16.5
4	買い物など日常生活が便利	55.6	48.4	57.5	54.5	50.5	49.8	36.3	48.4
5	趣味や娯楽が楽しめる	0.0	7.7	3.1	1.1	2.3	7.1	6.8	4.5
6	福祉や医療の面で安心できる	5.6	8.8	8.1	8.6	8.1	12.7	18.0	11.6
7	子育てがしやすい	0.0	4.4	15.6	15.0	6.3	5.2	1.1	7.1
8	近所づきあいや人間関係が豊かである	8.3	7.7	6.9	3.7	6.3	11.6	16.5	9.6
9	防犯や防災の面で安心できる	11.1	5.5	5.0	4.8	5.4	10.9	10.1	7.6
10	産業が盛んで働きやすい	0.0	1.1	0.6	1.6	0.9	0.7	0.0	0.7
11	行政サービスが充実している	0.0	2.2	1.3	4.3	2.3	3.7	5.4	3.3
12	その他	2.8	6.6	5.6	3.2	2.7	2.2	2.5	3.3

1位

2位

●問6. 丸亀市の魅力が乏しいと感じる点（2つまで回答）

- ・「趣味や娯楽の場が少ない」が最も多く、次いで「まちの魅力に乏しく、個性がない」、「通勤・通学など交通の便が悪い」との回答が多くなっている。
- ・年齢階層別では、「産業が停滞し働く場が少ない」が50歳以上で高くなっている。



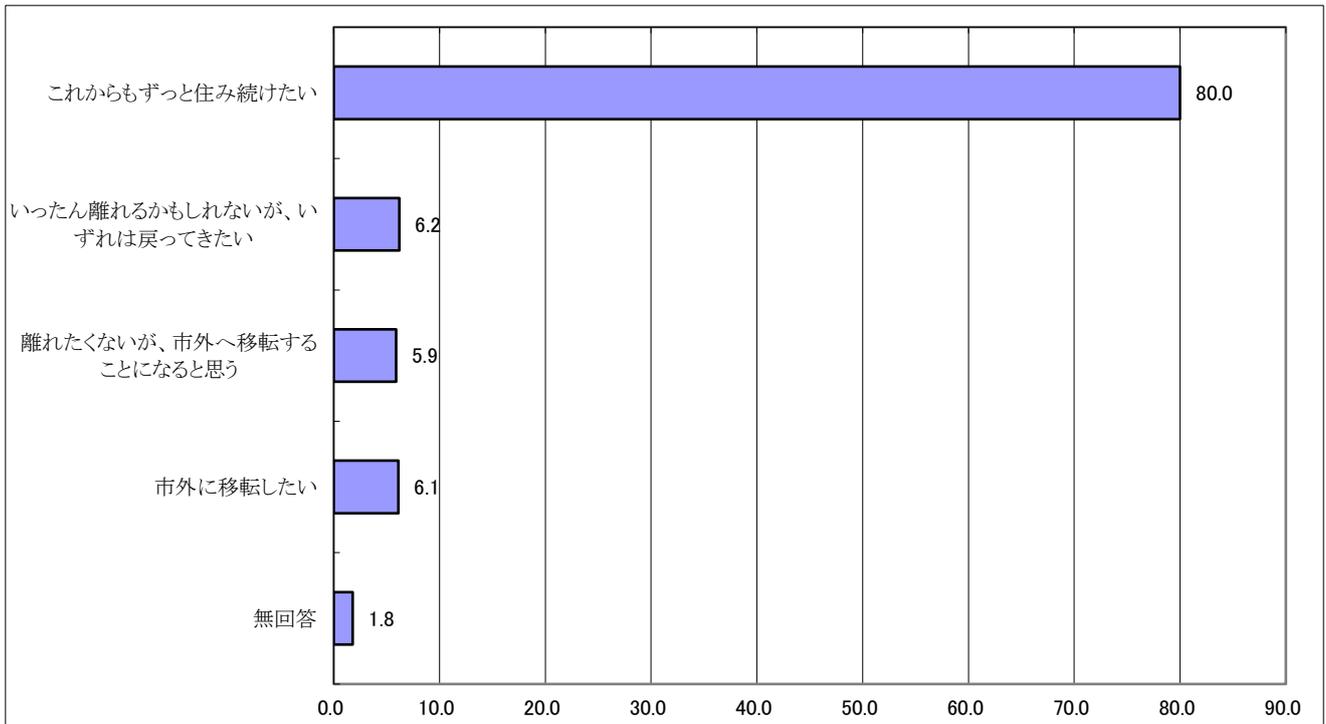
(年齢階層別の状況)

区分		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1	自然環境に乏しい	0.0	5.5	5.6	2.1	4.1	4.5	1.4	3.4
2	まちの魅力に乏しく、個性がない	13.9	20.9	15.6	18.2	21.6	23.6	26.3	21.4
3	通勤・通学など交通の便が悪い	41.7	30.8	28.1	24.1	19.8	18.7	14.7	21.4
4	買い物など日常生活が不便	5.6	9.9	6.9	4.3	6.8	8.6	18.7	9.6
5	趣味や娯楽の場が少ない	52.8	33.0	31.3	33.2	26.1	19.5	17.6	25.7
6	福祉や医療の面で安心できない	2.8	4.4	7.5	8.0	11.3	10.9	17.6	10.8
7	子育てがしにくい	0.0	7.7	12.5	4.8	0.9	1.1	0.0	3.3
8	近所づきあいや人間関係に乏しい	8.3	9.9	8.1	10.7	9.5	15.4	14.0	11.8
9	防犯や防災の面で安心できない	8.3	8.8	15.6	15.5	14.9	15.0	15.1	14.5
10	産業が停滞し働く場が少ない	11.1	14.3	11.3	15.0	24.3	24.0	20.1	19.0
11	行政サービスがよくない	2.8	3.3	9.4	7.5	8.1	10.5	9.0	8.4
12	その他	2.8	7.7	7.5	9.6	5.4	6.7	5.8	6.7

1位 2位

問7. あなたは、これからも丸亀市に住み続けたいと思いますか。（1つだけ○）

- ・「これからもずっと住み続けたい」が最も多く、8割の回答となっている。また逆に、「市外に転出したいたい」はわずか6%程度となっており、丸亀市での定住志向の高さがうかがえる。
- ・年齢階層別にみると「これからもずっと住み続けたい」という回答は、年齢が高くなるにつれて回答率が高くなっているのがわかる。16～19歳の年代では「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」という回答が最も高くなっている。



(年齢階層別の状況)

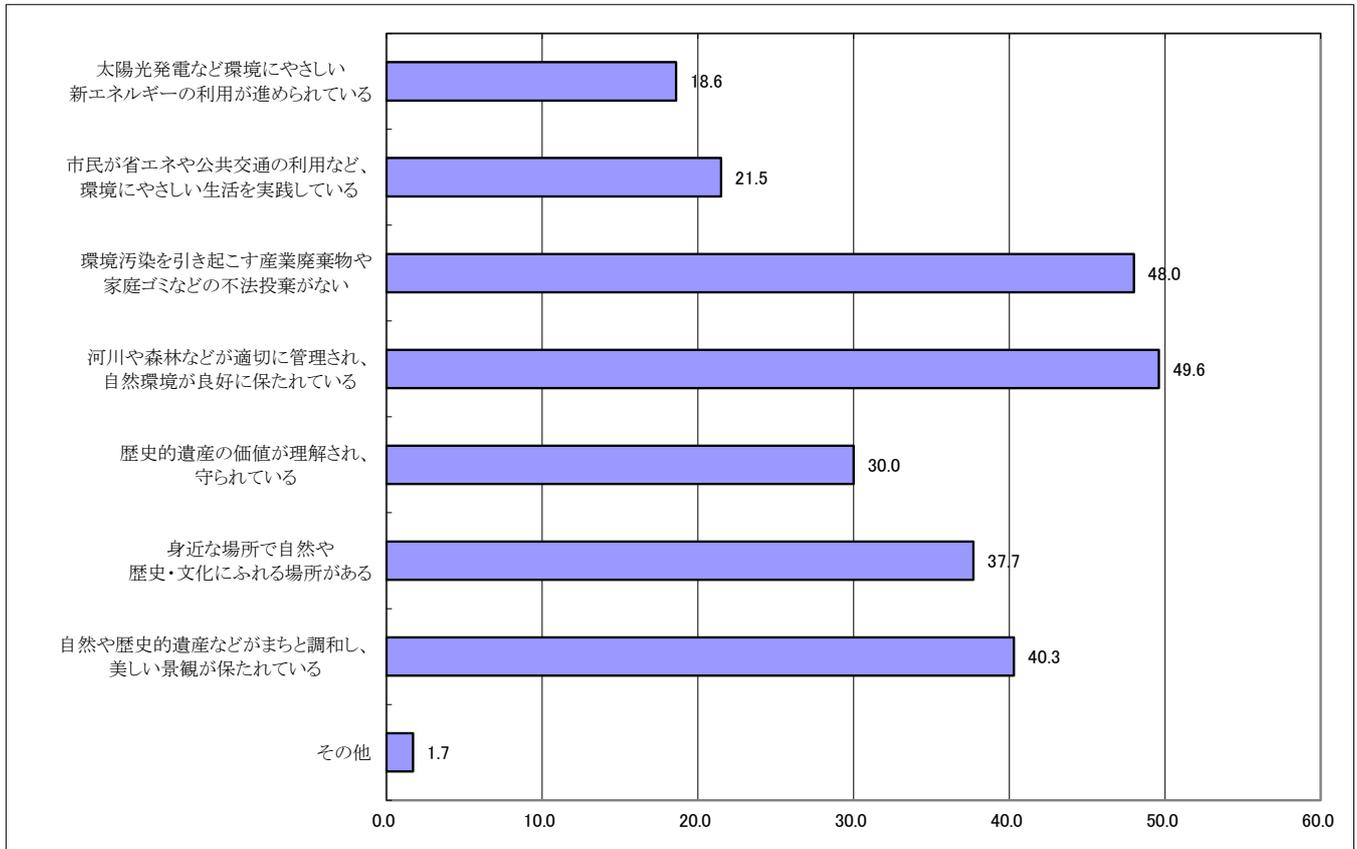
区分		16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1.	これからもずっと住み続けたい	27.8	41.8	71.3	82.4	83.8	89.1	92.1	80.0
2.	いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい	41.7	18.7	11.3	5.3	4.1	1.1	2.2	6.2
3.	離れたくないが、市外へ移転することになると思う	13.9	15.4	9.4	3.2	5.9	4.9	2.5	5.9
4.	市外に移転したい	16.7	22.0	6.9	8.0	3.6	4.1	1.8	6.1
5.	無回答	0.0	2.2	1.3	1.1	2.7	0.7	1.4	1.8

1位	2位
----	----

(3) 将来の丸亀市について（まちの将来の姿）

問8. ①「身近な自然と歴史文化を未来に伝える」まちをめざす場合、特に重要と思われるまちの状態。（3つまで回答）

- ・「環境汚染を引き起こす産業廃棄物や家庭ゴミなどの不法投棄がない」、「河川や森林などが適切に管理され、自然環境が良好に保たれている」といった回答が多く、ゴミ対策や自然環境の保全に対する関心の高さがうかがえる。
- ・年齢階層別にみても、どの年齢層においても同じような傾向が見られる。



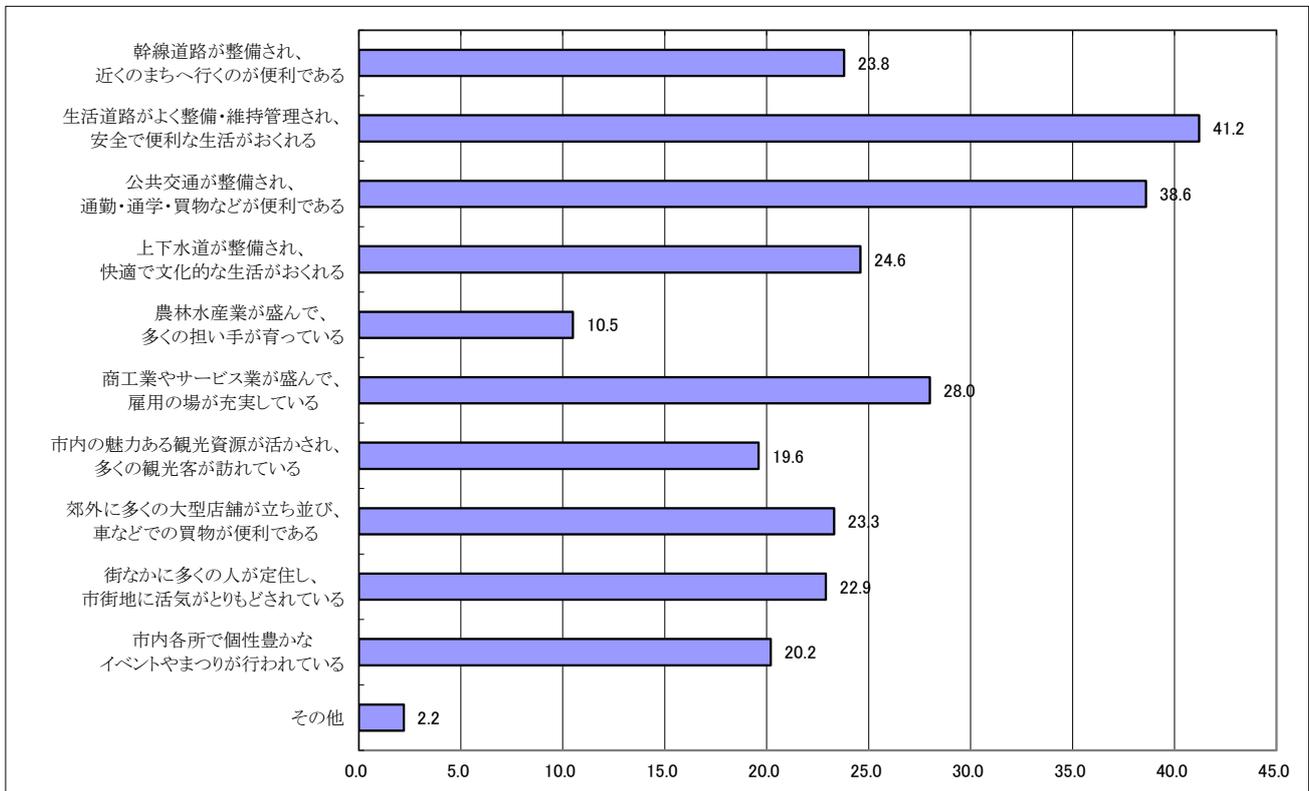
(年齢階層別の状況)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1. 太陽光発電など環境にやさしい新エネルギーの利用が進められている	13.9%	17.6%	13.8%	22.5%	18.5%	14.2%	24.1%	18.6%
2. 市民が省エネや公共交通の利用など、環境にやさしい生活を実践している	22.2%	17.6%	23.1%	19.3%	18.9%	22.8%	23.7%	21.5%
3. 環境汚染を引き起こす産業廃棄物や家庭ゴミなどの不法投棄がない	52.8%	42.9%	45.6%	49.2%	46.8%	47.9%	51.8%	48.0%
4. 河川や森林などが適切に管理され、自然環境が良好に保たれている	44.4%	52.7%	50.6%	51.3%	48.6%	52.8%	46.0%	49.6%
5. 歴史的遺産の価値が理解され、守られている	33.3%	30.8%	30.0%	34.8%	30.6%	28.8%	27.7%	30.0%
6. 身近な場所で自然や歴史・文化にふれる場所がある	36.1%	42.9%	45.0%	38.5%	33.3%	39.3%	34.5%	37.7%
7. 自然や歴史的遺産などがまちと調和し、美しい景観が保たれている	41.7%	38.5%	38.1%	44.4%	46.4%	36.7%	38.8%	40.3%
8. その他	2.8%	0.0%	2.5%	0.5%	1.8%	2.2%	1.8%	1.7%

1位	2位
----	----

問8. ②「日常生活が営みやすくにぎわいと活力のある」まちをめざす場合、特に重要と思われるまちの状態。
(3つまで回答)

- ・「生活道路がよく整備・維持管理され、安全で便利な生活がおくれる」の回答が最も多く、次いで「公共交通が整備され、通勤・通学・買物などが便利である」、「商工業やサービス業が盛んで、雇用の場が充実している」の回答が多くなっている。
- ・20歳代～50歳代で「商工業やサービス業が盛んで、雇用の場が充実している」が多く、10歳代～20歳代で「市内の魅力ある観光資源が活かされ、多くの観光客が訪れている」、「市内各所で個性豊かなイベントやまつりが行われている」が多くなっている。



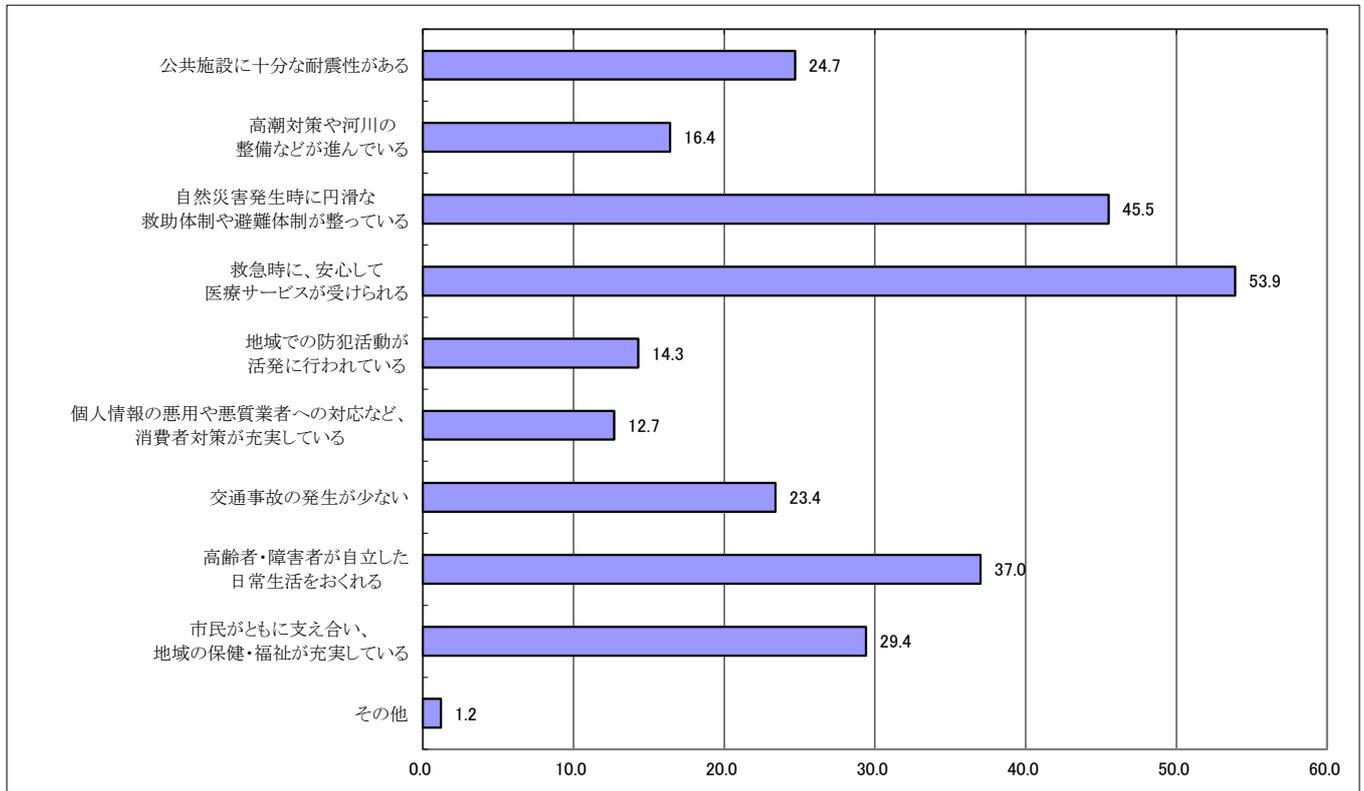
(年齢階層別の状況)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1. 幹線道路が整備され、近くのまちへ行くのが便利である	19.4%	27.5%	23.8%	20.3%	24.3%	20.6%	28.8%	23.8%
2. 生活道路がよく整備・維持管理され、安全で便利な生活がおくれる	22.2%	38.5%	43.1%	41.7%	45.0%	46.8%	36.0%	41.2%
3. 公共交通が整備され、通勤・通学・買物などが便利である	63.9%	41.8%	44.4%	47.6%	36.0%	34.8%	31.3%	38.6%
4. 上下水道が整備され、快適で文化的な生活がおくれる	16.7%	11.0%	19.4%	20.9%	18.5%	27.0%	38.5%	24.6%
5. 農林水産業が盛んで、多くの担い手が育っている	2.8%	9.9%	10.6%	9.1%	10.4%	13.1%	10.4%	10.5%
6. 商工業やサービス業が盛んで、雇用の場が充実している	19.4%	33.0%	32.5%	34.2%	35.6%	24.7%	18.7%	28.0%
7. 市内の魅力ある観光資源が活かされ、多くの観光客が訪れている	27.8%	30.8%	16.9%	20.9%	21.6%	15.7%	17.6%	19.6%
8. 郊外に多くの大型店舗が立ち並び、車などでの買物が便利である	16.7%	22.0%	18.1%	20.3%	15.8%	26.2%	32.7%	23.3%
9. 街なかに多くの人が定住し、市街地に活気がとりもどされている	25.0%	13.2%	24.4%	21.4%	25.7%	24.0%	23.7%	22.9%
10. 市内各所で個性豊かなイベントやまつりが行われている	30.6%	29.7%	23.1%	24.6%	17.1%	16.1%	17.6%	20.2%
11. その他	5.6%	2.2%	1.9%	3.7%	0.9%	1.1%	3.2%	2.2%

1位 2位

問8. ③「誰もが健康で安心して暮らせる」まちをめざす場合、特に重要と思われるまちの状態。（3つまで回答）

- ・「救急時に安心して、医療サービスが受けられる」という回答が多く、次いで「自然災害発生時に円滑な救助体制や避難体制が整っている」が多くなっている。
- ・10歳代～30歳代で「交通事故の発生が少ない」が多く、40歳代以上で「高齢者・障害者が自立した日常生活をおくれる」が多くなっている。



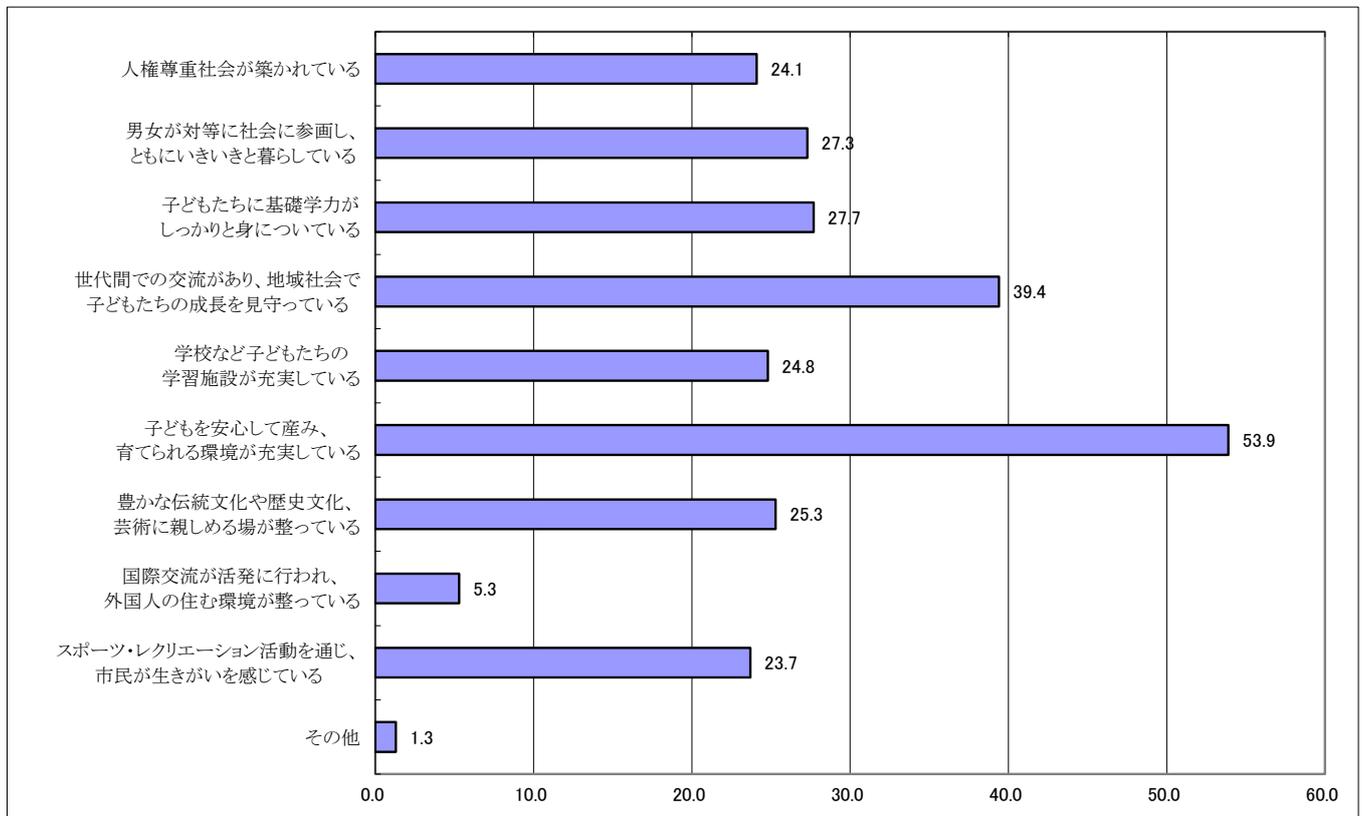
(年齢階層別の状況)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1. 公共施設に十分な耐震性がある	38.9%	41.8%	28.1%	27.3%	21.6%	21.7%	20.1%	24.7%
2. 高潮対策や河川の整備などが進んでいる	19.4%	16.5%	15.6%	21.9%	15.3%	15.4%	14.7%	16.4%
3. 自然災害発生時に円滑な救助体制や避難体制が整っている	58.3%	49.5%	55.6%	51.3%	49.5%	43.8%	32.4%	45.5%
4. 救急時に、安心して医療サービスが受けられる	38.9%	54.9%	51.3%	47.6%	49.5%	56.9%	62.2%	53.9%
5. 地域での防犯活動が活発に行われている	27.8%	14.3%	16.9%	17.6%	13.1%	12.7%	11.9%	14.3%
6. 個人情報の悪用や悪質業者への対応など、消費者対策が充実している	11.1%	13.2%	13.8%	13.4%	13.5%	12.0%	12.6%	12.7%
7. 交通事故の発生が少ない	41.7%	38.5%	30.0%	29.4%	20.3%	15.4%	19.1%	23.4%
8. 高齢者・障害者が自立した日常生活をおくれる	13.9%	18.7%	23.8%	34.2%	38.7%	41.6%	49.3%	37.0%
9. 市民がともに支え合い、地域の保健・福祉が充実している	11.1%	18.7%	23.8%	24.1%	32.9%	34.5%	34.5%	29.4%
10. その他	0.0%	1.1%	1.9%	1.1%	0.9%	1.1%	1.4%	1.2%

1位	2位
----	----

問8. ④「心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じる」まちをめざす場合、特に重要と思われるまちの状態。（3つまで回答）

- ・「子どもを安心して産み、育てられる環境が充実している」が最も多く、次いで「世代間での交流があり、地域社会で子どもたちの成長を見守っている」が多く、子育て環境への関心の高さがうかがえる。
- ・10歳代では、「学校など子どもたちの学習施設が充実している」、次いで「男女が台頭に社会に参画し、ともにいきいきと暮らしている」が多く、30歳代では「子どもたちに基礎学力がしっかりと身につけている」が多くなっている。



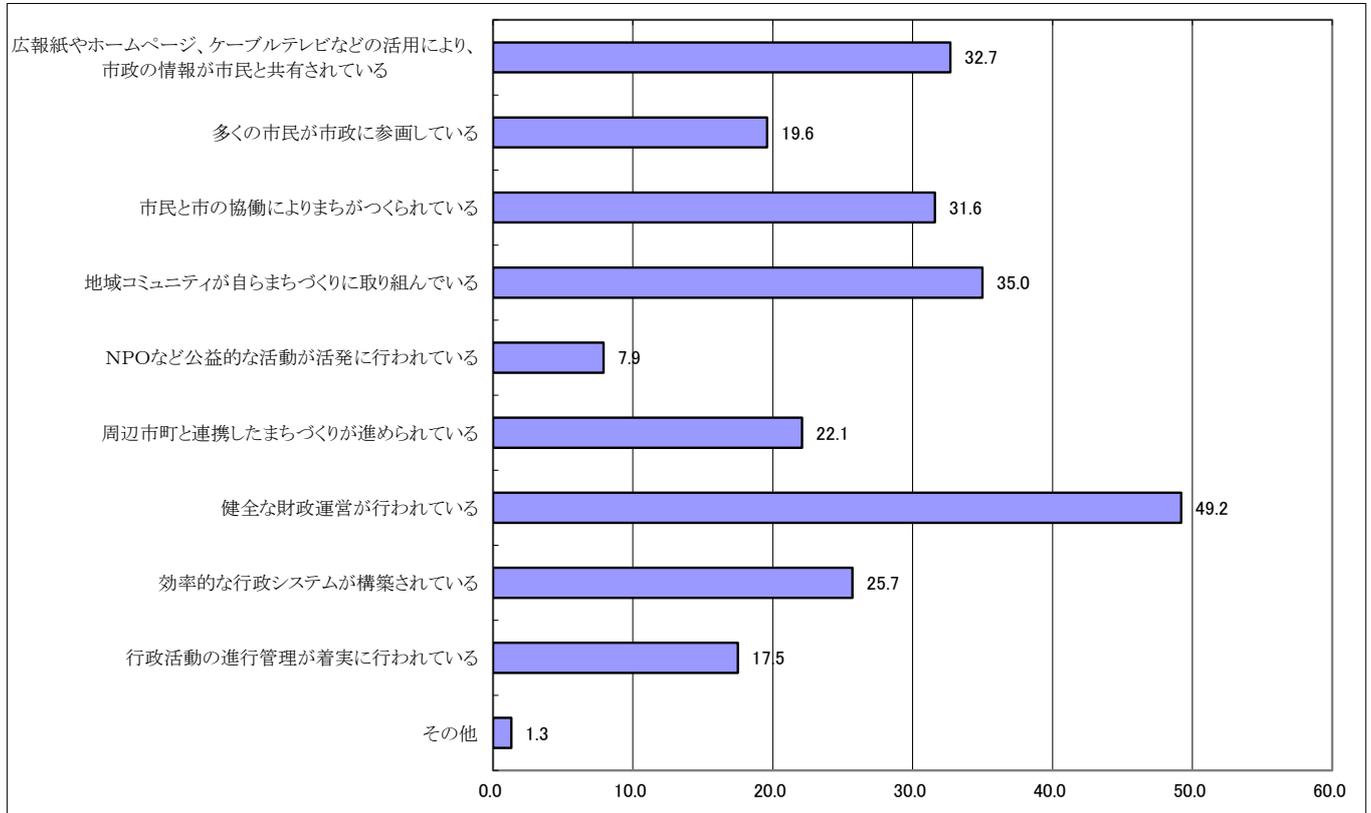
(年齢階層別の状況)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1. 人権尊重社会が築かれている	13.9%	23.1%	16.3%	27.3%	25.7%	26.6%	24.5%	24.1%
2. 男女が対等に社会に参画し、ともにいきいきと暮らしている	44.4%	28.6%	15.6%	24.6%	26.6%	27.3%	33.8%	27.3%
3. 子どもたちに基礎学力がしっかりと身につけている	38.9%	26.4%	41.3%	32.1%	23.4%	25.1%	23.0%	27.7%
4. 世代間での交流があり、地域社会で子どもたちの成長を見守っている	33.3%	37.4%	34.4%	35.8%	42.3%	40.4%	43.9%	39.4%
5. 学校など子どもたちの学習施設が充実している	47.2%	31.9%	34.4%	28.9%	17.1%	21.0%	21.6%	24.8%
6. 子どもを安心して産み、育てられる環境が充実している	41.7%	70.3%	66.3%	58.8%	59.5%	48.7%	42.4%	53.9%
7. 豊かな伝統文化や歴史文化、芸術に親しめる場が整っている	13.9%	17.6%	19.4%	24.6%	26.1%	32.6%	25.2%	25.3%
8. 国際交流が活発に行われ、外国人の住む環境が整っている	16.7%	5.5%	9.4%	3.7%	3.2%	5.2%	4.0%	5.3%
9. スポーツ・レクリエーション活動を通じ、市民が生きがいを感じている	13.9%	15.4%	18.8%	25.7%	22.5%	22.1%	32.0%	23.7%
10. その他	0.0%	0.0%	2.5%	1.1%	2.3%	0.7%	1.1%	1.3%

1位	2位
----	----

問8. ⑤「自治・自立の」まちをめざす場合、特に重要と思われるまちの状態。（3つまで回答）

- ・「健全な財政運営が行われている」という回答が最も多く、次いで「地域コミュニティが自らまちづくりに取り組んでいる」、「広報誌やホームページ、ケーブルテレビなどの活用により、市政の情報が市民と共有されている」、「市民と市の協働によりまちがつくられている」の回答が多くなっている。
- ・30歳代～40歳代で「効率的な行政システムが構築されている」が多く、50歳代以上で「地域コミュニティが自らまちづくりに取り組んでいる」が多くなっている。



(年齢階層別の状況)

区分	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	全体
1. 広報紙やホームページ、ケーブルテレビなどの活用により、市政の情報が市民と共有されている	25.0%	30.8%	24.4%	32.1%	26.6%	33.0%	45.0%	32.7%
2. 多くの市民が市政に参画している	22.2%	33.0%	20.0%	24.1%	17.1%	16.1%	17.3%	19.6%
3. 市民と市の協働によりまちがつくられている	30.6%	22.0%	25.0%	33.7%	30.2%	35.2%	36.3%	31.6%
4. 地域コミュニティが自らまちづくりに取り組んでいる	38.9%	28.6%	26.9%	31.0%	34.7%	37.5%	41.7%	35.0%
5. NPOなど公益的な活動が活発に行われている	19.4%	12.1%	6.9%	7.5%	7.7%	9.0%	5.0%	7.9%
6. 周辺の市町と連携したまちづくりが進められている	27.8%	16.5%	20.6%	19.8%	19.4%	25.1%	25.5%	22.1%
7. 健全な財政運営が行われている	33.3%	61.5%	58.8%	54.0%	51.8%	48.3%	38.1%	49.2%
8. 効率的な行政システムが構築されている	19.4%	20.9%	38.1%	34.2%	24.8%	24.0%	18.7%	25.7%
9. 行政活動の進行管理が着実に進められている	11.1%	17.6%	14.4%	19.8%	20.7%	16.9%	17.3%	17.5%
10. その他	2.8%	1.1%	2.5%	1.1%	1.8%	0.0%	1.4%	1.3%

1位	2位
----	----

(4) 丸亀市の取組みについて（現在の満足度と今後の重要度）

●問9. 現在の満足度

現在の満足度についての回答数は以下のとおりである。

区 分		現在の満足度							計	※評価点	※満足 (%)
		満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	分からない	無回答				
自然との共生	1 省エネルギーや新エネルギー利用の推進	36	260	225	83	574	77	1,255	2.4	49.0	
	2 ゴミの減量化やリサイクルに関する取組み	224	568	203	63	156	41	1,255	2.9	74.9	
	3 海、河川、山林などの自然環境の保全	105	463	280	110	240	57	1,255	2.6	59.3	
	4 自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	67	415	313	107	288	65	1,255	2.5	53.4	
生活環境の整備	5 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	245	566	221	87	74	62	1,255	2.9	72.5	
	6 市内をつなぐ一般道路の整備	180	511	322	116	56	70	1,255	2.7	61.2	
	7 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)	55	275	424	201	240	60	1,255	2.2	34.6	
	8 鉄道、バスなどの公共交通の整備	99	315	347	288	142	64	1,255	2.2	39.5	
	9 無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	50	317	306	131	365	86	1,255	2.4	45.6	
	10 景観に配慮したまちづくりに関する取組み	100	477	240	94	262	82	1,255	2.6	63.3	
	11 公営住宅や宅地の整備に関する取組み	59	309	251	77	479	80	1,255	2.5	52.9	
	12 水道水の安定供給に関する取組み	385	517	114	29	136	74	1,255	3.2	86.3	
	13 生活排水・産業排水などの処理に関する取組み	198	418	211	89	264	75	1,255	2.8	67.2	
	14 公園、緑地の充実・維持管理に関する取組み	121	492	273	122	176	71	1,255	2.6	60.8	
	15 丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	73	375	202	59	468	78	1,255	2.7	63.2	
	16 ゴミやし尿の収集処理に関する取組み	277	532	172	50	163	61	1,255	3.0	78.5	
	17 墓地や葬儀に関する取組み	140	379	142	58	467	69	1,255	2.8	72.2	
	18 離島航路や島内交通の整備などに関する取組み	53	259	174	52	645	72	1,255	2.6	58.0	
	産業の振興	19 農林水産業の育成・支援	36	196	223	97	630	73	1,255	2.3	42.0
		20 商業やサービス業の育成・支援	38	254	271	105	517	70	1,255	2.3	43.7
		21 既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	34	238	242	86	585	70	1,255	2.4	45.3
		22 観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	52	338	245	79	468	73	1,255	2.5	54.6
23 雇用機会の創出などに関する取組み		33	189	299	129	531	74	1,255	2.2	34.2	
教育・文化の振興	24 心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取組み	70	464	213	65	372	71	1,255	2.7	65.8	
	25 学校教育の充実、教育施設の整備に関する取組み	104	488	201	72	319	71	1,255	2.7	68.4	
	26 青少年の健全育成、指導等に関する取組み	49	332	296	117	389	72	1,255	2.4	48.0	
	27 芸術や地域文化の継承や振興に関する取組み	75	428	228	52	387	85	1,255	2.7	64.2	
	28 名所や文化財の保護・活用に関する取組み	90	485	174	38	387	81	1,255	2.8	73.1	
29 スポーツ・レクリエーションの充実に関する取組み	98	463	195	54	364	81	1,255	2.7	69.3		
健康・福祉の充実	30 身近な地域における地域福祉に関する取組み	73	426	243	69	363	81	1,255	2.6	61.5	
	31 健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取組み	104	483	257	66	266	79	1,255	2.7	64.5	
	32 高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取組み	86	421	241	81	358	68	1,255	2.6	61.2	
	33 障害者の就労支援や福祉サービスに関する取組み	56	298	204	70	553	74	1,255	2.5	56.4	
	34 保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取組み	81	362	207	91	439	75	1,255	2.6	59.8	
	35 健康保険や年金制度の健全化に関する取組み	85	309	270	167	351	73	1,255	2.4	47.4	
	36 介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取組み	52	300	273	140	414	76	1,255	2.3	46.0	
安全確保	37 消費者被害の保護に関する取組み	43	253	176	53	651	79	1,255	2.5	56.4	
	38 消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取組み	131	460	196	53	354	61	1,255	2.8	70.4	
	39 交通安全や防犯対策に関する取組み	99	396	267	121	295	77	1,255	2.5	56.1	
情報	40 行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取組み	100	388	221	68	411	67	1,255	2.7	62.8	
	41 ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備に関する取組み	74	327	189	61	520	84	1,255	2.6	61.6	
市民活動	42 地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取組み	98	439	183	64	401	70	1,255	2.7	68.5	
	43 まちづくりや行政への市民参画に関する取組み	65	380	205	55	469	81	1,255	2.6	63.1	
その他	44 人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取組み	70	368	155	49	538	75	1,255	2.7	68.2	
	45 男女がともに活躍するための啓発や支援に関する取組み	56	341	163	55	565	75	1,255	2.6	64.6	
	46 国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取組み	47	247	169	45	659	88	1,255	2.6	57.9	
合 計		4,466	17,521	10,626	4,018	17,751	3,348	57,730	2.6	60.0	

※評価点とは、「満足している」を4点、「やや満足している」を3点、「やや不満である」を2点、「不満である」を1点とした場合の平均点である。

※満足 (%)とは、「分からない」、「無回答」を除いた全体に占める、「満足している」、「やや満足している」の割合である。

●問9. 今後の重要度

今後の重要度についての回答数は以下のとおりである。

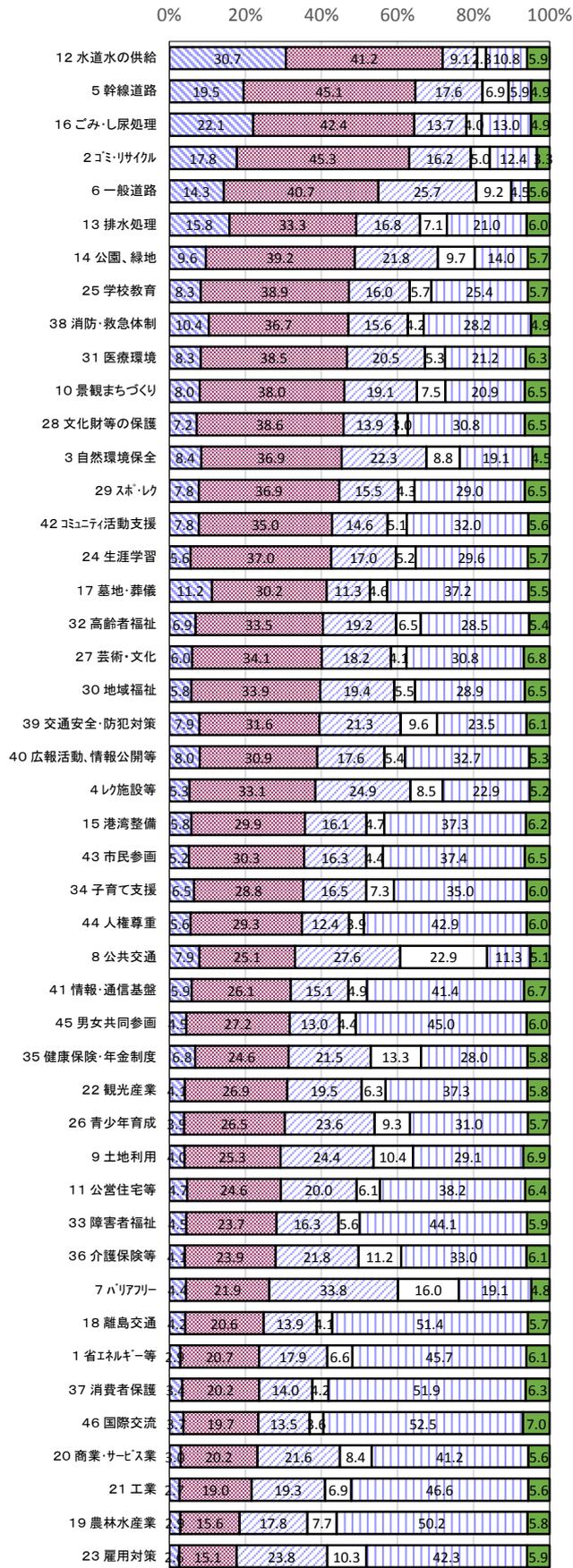
区 分		今後の重要度							計	※評価点	※重要 (%)
		重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	分からない	無回答				
自然との共生	1 省エネルギーや新エネルギー利用の推進	431	435	106	19	138	126	1,255	3.3	87.4	
	2 ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	625	422	50	8	41	109	1,255	3.5	94.8	
	3 海、河川、山林などの自然環境の保全	545	462	69	9	60	110	1,255	3.4	92.8	
	4 自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	310	550	171	21	91	112	1,255	3.1	81.7	
生活環境の整備	5 高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	396	487	172	32	46	122	1,255	3.1	81.2	
	6 市内をつなぐ一般道路の整備	454	490	130	23	38	120	1,255	3.3	86.1	
	7 高齢者などが移動しやすい環境の整備(バリアフリー)	573	446	61	6	54	115	1,255	3.5	93.8	
	8 鉄道、バスなどの公共交通の整備	449	493	112	20	63	118	1,255	3.3	87.7	
	9 無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	292	473	173	29	156	132	1,255	3.1	79.1	
	10 景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	273	514	196	31	109	132	1,255	3.0	77.6	
	11 公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	160	446	250	56	211	132	1,255	2.8	66.4	
	12 水道水の安定供給に関する取り組み	617	370	76	13	56	123	1,255	3.5	91.7	
	13 生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	568	395	73	10	79	130	1,255	3.5	92.1	
	14 公園、緑地の充実・維持管理に関する取り組み	296	582	163	24	70	120	1,255	3.1	82.4	
	15 丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	152	419	236	54	261	133	1,255	2.8	66.3	
	16 ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	532	437	77	9	76	124	1,255	3.4	91.8	
	17 墓地や葬儀に関する取り組み	238	443	201	33	214	126	1,255	3.0	74.4	
	18 離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	174	410	153	28	363	127	1,255	3.0	76.3	
産業の振興	19 農林水産業の育成・支援	318	395	108	20	289	125	1,255	3.2	84.8	
	20 商業やサービス業の育成・支援	320	466	111	12	228	118	1,255	3.2	86.5	
	21 既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	318	409	136	14	258	120	1,255	3.2	82.9	
	22 観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	286	477	136	25	211	120	1,255	3.1	82.6	
	23 雇用機会の創出などに関する取り組み	460	401	71	10	193	120	1,255	3.4	91.4	
教育・文化の振興	24 心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	382	518	101	21	127	106	1,255	3.2	88.1	
	25 学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	591	403	43	4	108	106	1,255	3.5	95.5	
	26 青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	569	417	44	7	112	106	1,255	3.5	95.1	
	27 芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	272	521	148	18	176	120	1,255	3.1	82.7	
	28 名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	289	555	119	21	154	117	1,255	3.1	85.8	
	29 スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	232	530	185	38	157	113	1,255	3.0	77.4	
健康・福祉の充実	30 身近な地域における地域福祉に関する取り組み	411	515	79	12	125	113	1,255	3.3	91.1	
	31 健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	496	489	73	7	80	110	1,255	3.4	92.5	
	32 高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	528	472	56	10	85	104	1,255	3.4	93.8	
	33 障害者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	471	458	70	11	138	107	1,255	3.4	92.0	
	34 保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	610	370	39	10	118	108	1,255	3.5	95.2	
	35 健康保険や年金制度の健全化に関する取り組み	676	348	48	7	75	101	1,255	3.6	94.9	
	36 介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	641	362	43	12	94	103	1,255	3.5	94.8	
安全確保	37 消費者被害の保護に関する取り組み	389	465	90	11	184	116	1,255	3.3	89.4	
	38 消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	721	318	38	4	77	97	1,255	3.6	96.1	
	39 交通安全や防犯対策に関する取り組み	674	374	41	4	61	101	1,255	3.6	95.9	
情報	40 行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	422	461	108	12	155	97	1,255	3.3	88.0	
	41 ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備に関する取り組み	180	442	232	57	233	111	1,255	2.8	68.3	
市民活動	42 地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	250	540	171	31	162	101	1,255	3.0	79.6	
	43 まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	245	518	171	20	183	118	1,255	3.0	80.0	
その他	44 人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	283	487	131	41	206	107	1,255	3.1	81.7	
	45 男女がともに活躍するための啓発や支援に関する取り組み	244	512	153	34	205	107	1,255	3.0	80.2	
	46 国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	184	447	193	62	257	112	1,255	2.8	71.2	
合 計		18,547	20,944	5,407	960	6,577	5,295	57,730	3.2	86.1	

※評価点とは、「重要」を4点、「やや重要」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とした場合の平均点である。

※重要(%)とは、「分からない」、「無回答」を除いた全体に占める、「重要」、「やや重要」の割合である。

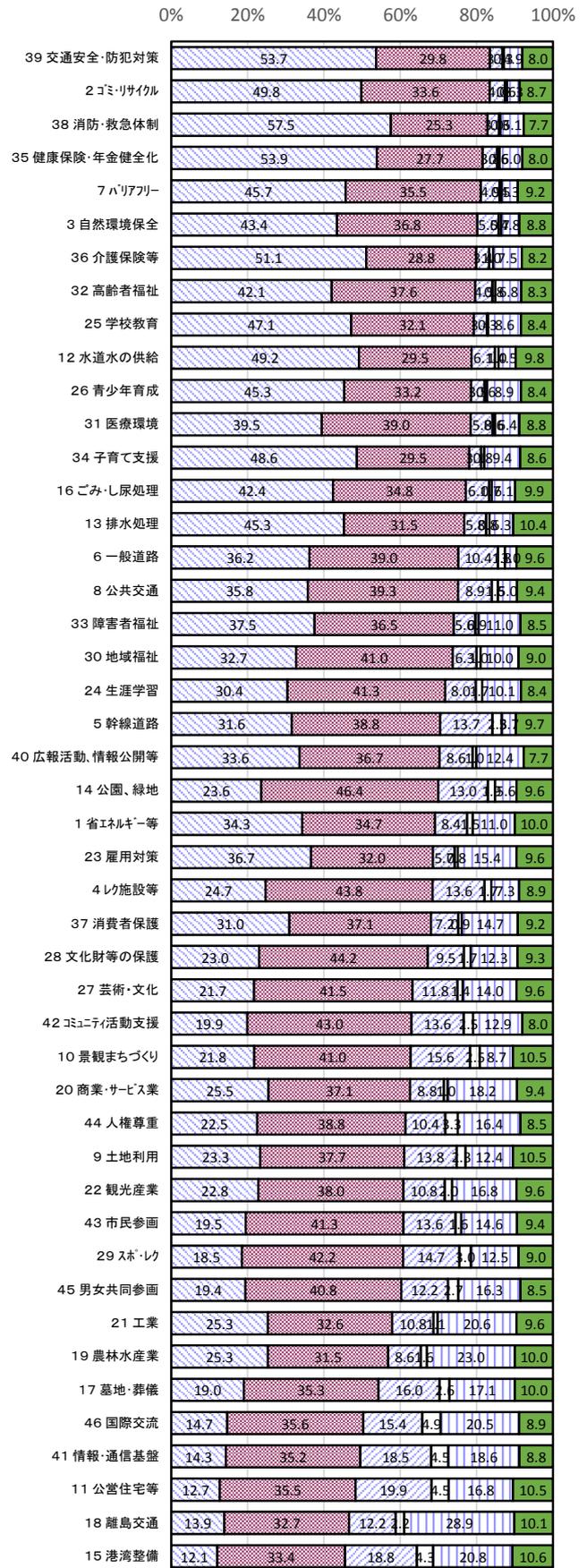
《満足度・重要度の高い順》

1. 現在の満足度(満足している・やや満足している)



満足している やや満足している やや不満である
 不満である 分からない 無回答

2. 今後の重要度(重要である・やや重要である)

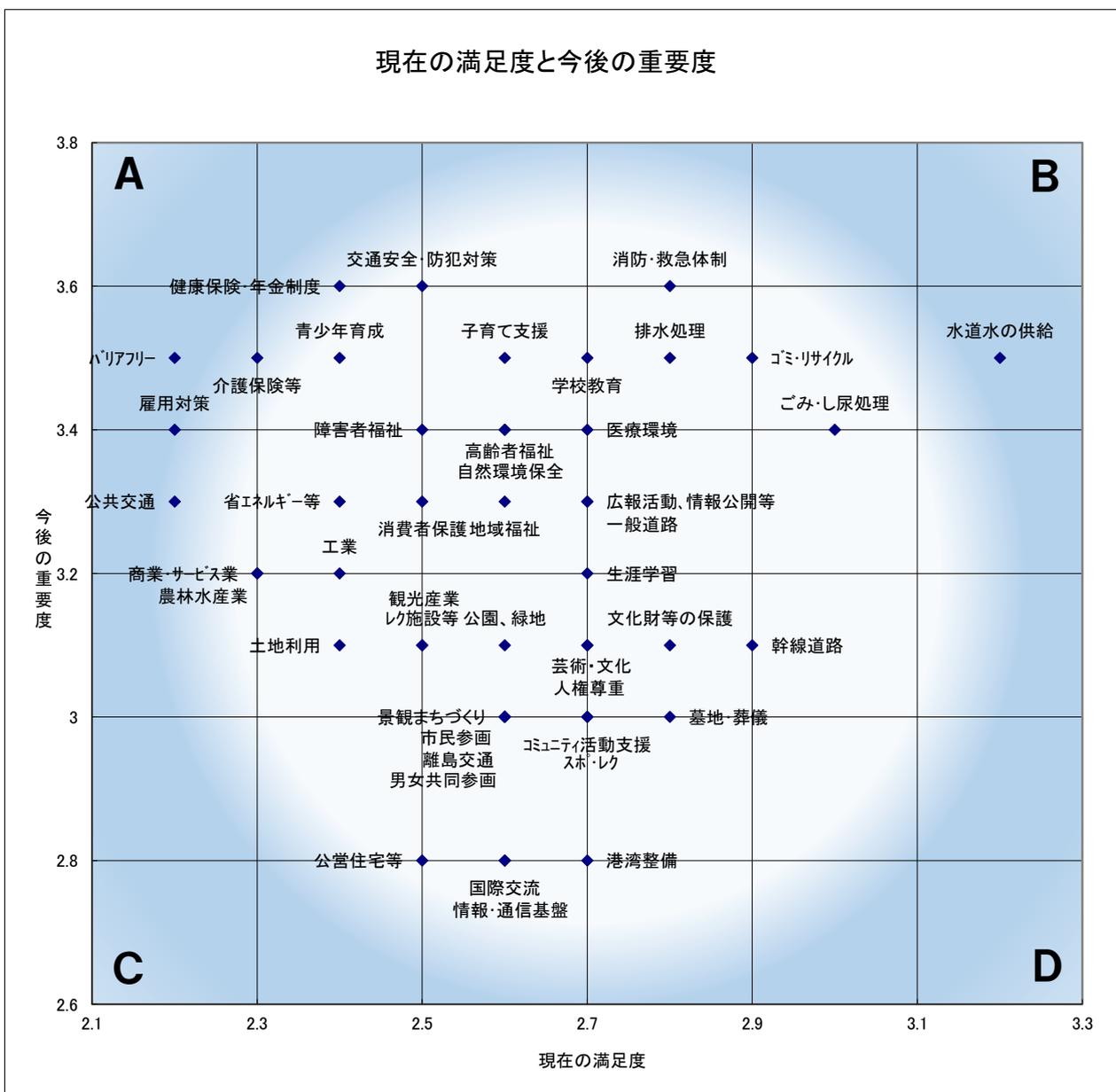


重要である やや重要である あまり重要でない
 重要でない 分からない 無回答

《評価分析》

「現在の満足度」を横軸に、「今後の重要度」を縦軸とし、各項目を評価点により表に落とすと下図のとおりとなり、AからDの4つの分野に大別することができる。

A: 重点改善分野		B: 重点維持分野	
満足度が低く、今後の重要度は高いとする意見が多い分野である。該当する項目への重点的取組みにより、市民の満足度を高めることが強く求められている。		満足度、重要度ともに高いとする意見が多い分野である。重要分野として、今後も現在のサービス水準を維持していくことが強く求められている。	
7 バリアフリー 35 健康保険・年金制度 39 交通安全・防犯対策	36 介護保険等 23 雇用対策 26 青少年育成 等	12 水道水の供給 16 ごみ・し尿処理 13 排水処理	2 ゴミ・リサイクル 38 消防・救急体制 等
C: 改善分野		D: 維持分野	
満足度、重要度ともに低いとする意見が多い分野である。実施方法の改善や市民への周知などにより、できるだけ満足度を高めることが求められている。		満足度は高いが、今後の重要度は低いとする意見が多い分野である。できるだけサービス水準の維持に努めながらも、社会情勢や市の実情に見合った取組みが求められている。	
11 公営住宅等 4 レク施設等 41 情報・通信基盤	9 土地利用 22 観光産業 46 国際交流 等	5 幹線道路 28 文化財等の保護	17 墓地・葬儀

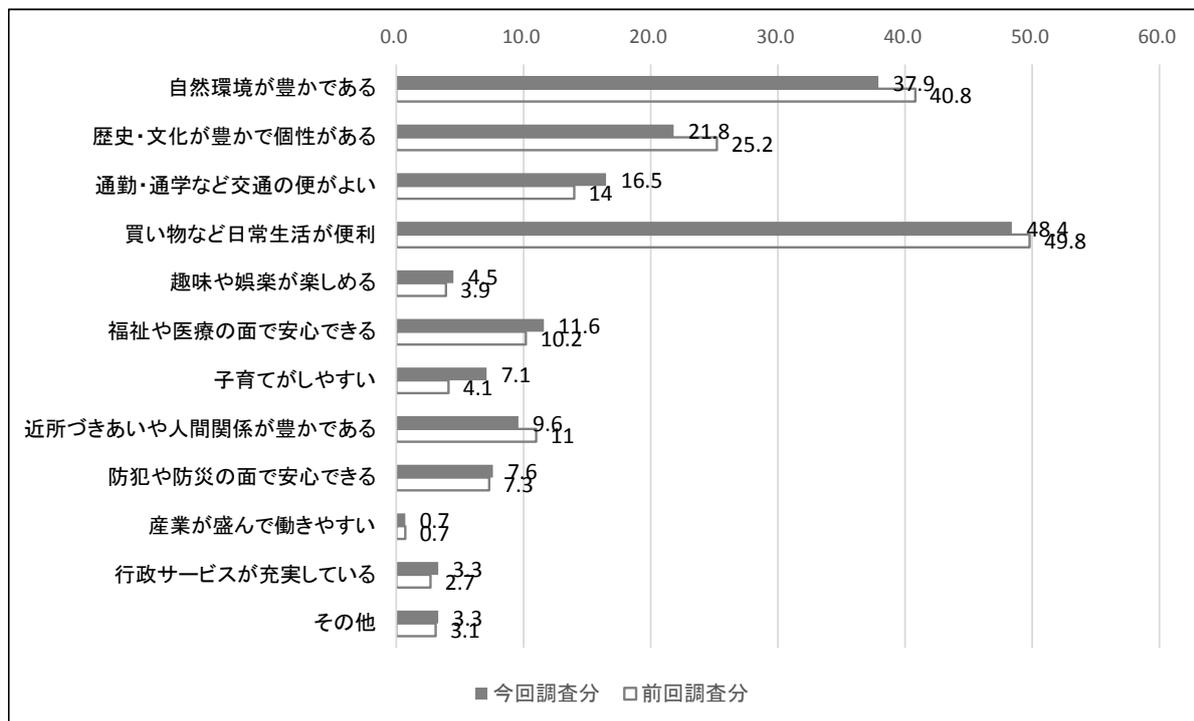


3 前回調査（平成22年実施）との比較

（1）丸亀市の魅力と定住意向

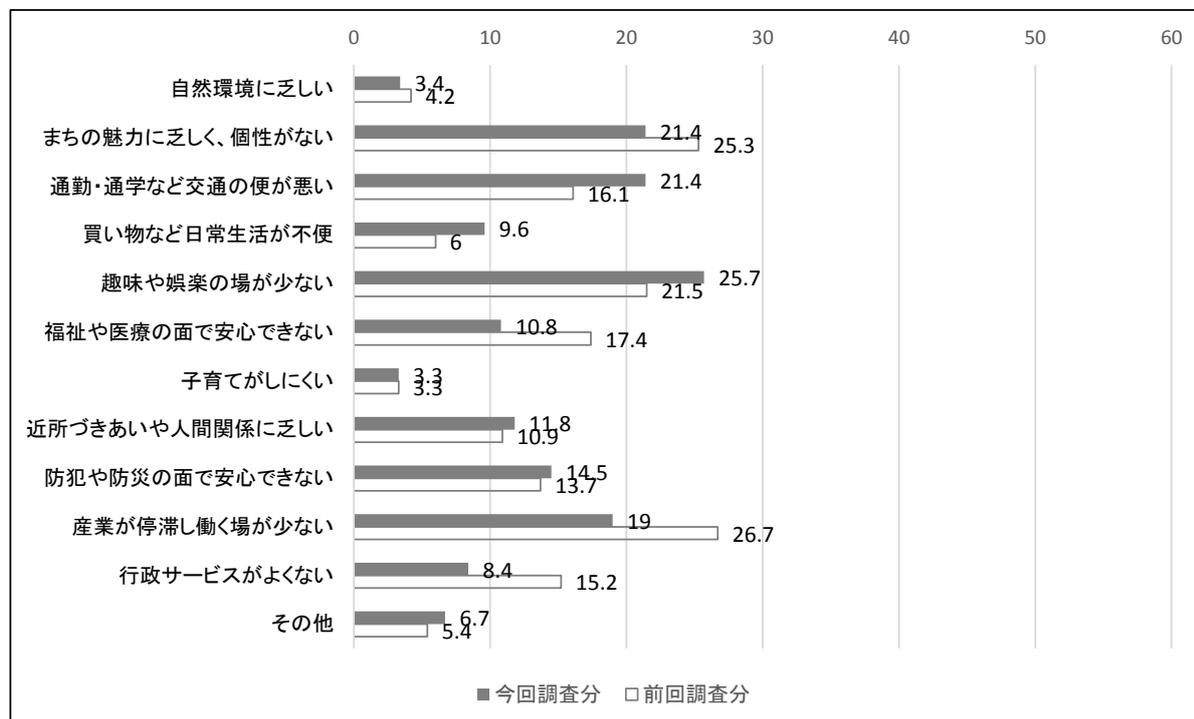
●問5. 丸亀市の魅力だと感じる点（2つまで回答）

今回の調査では、「買い物など日常生活が便利」が1位、「自然環境が豊かである」が2位と、前回調査と同じ結果になっている。



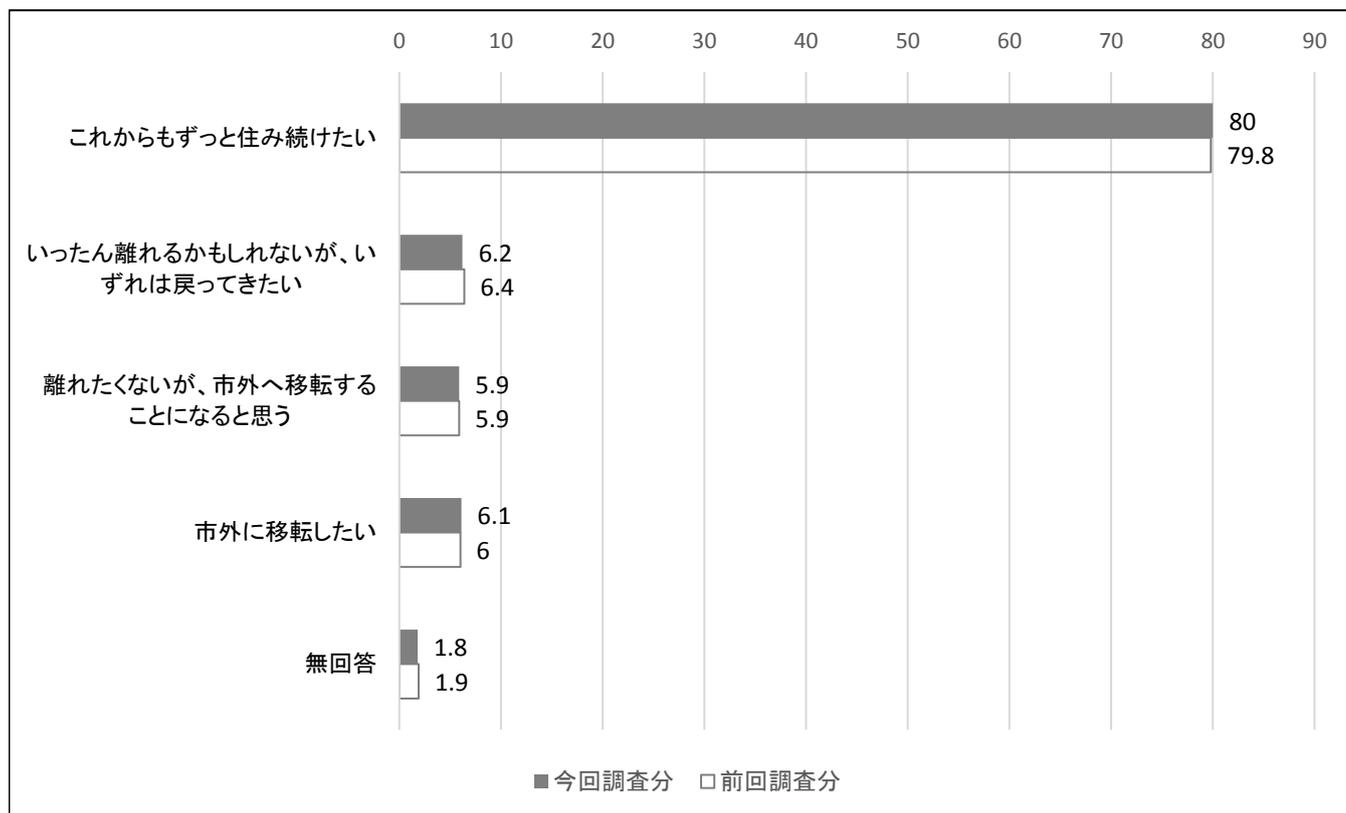
●問5. 丸亀市の魅力が乏しいと感じる点（2つまで回答）

今回の調査では、「通勤・通学など交通の便が悪い」、「趣味や娯楽の場が少ない」が前回よりも高くなっている。「福祉や医療の面で安心できない」、「産業が停滞し働く場が少ない」、「行政サービスがよくない」は前回よりも低くなっている。



●問7. 丸亀市での定住意向

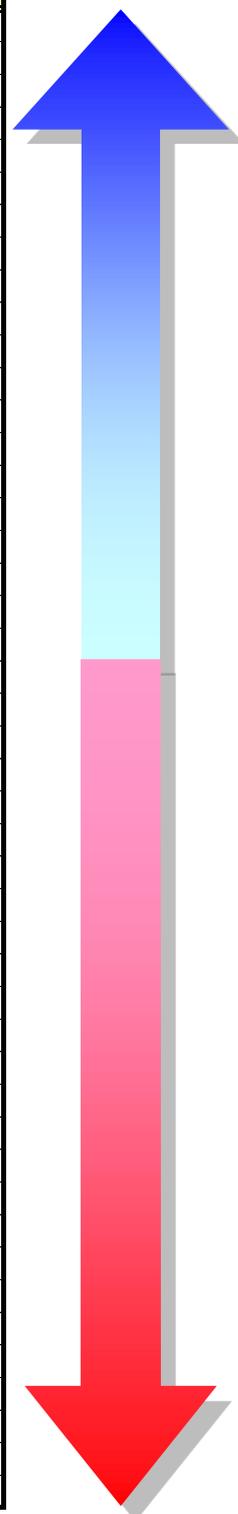
今回調査、前回調査ともに「これからもずっと住みたい」が最も多く、約8割の回答となっており、丸亀市での定住意向は前回から変わらず高いことが分かる。



(2) 取り組みに対する満足度の変化

●問9. 前回調査に比べ、満足度が向上した取組の順

順位	取組名	今回調査分		前回調査分		差 (%) (A-B)
		満足度 (%) A	満足度 順位	満足度 (%) B	満足度 順位	
1	省エネルギーや新エネルギー利用の推進	49.0	36	33.9	44	15.1
2	保育サービスや子育て相談など子育て支援に関する取り組み	59.8	26	46.3	33	13.5
3	健康保険や年金制度の健全化に関する取り組み	47.4	38	36.8	41	10.6
4	学校教育の充実、教育施設の整備に関する取り組み	68.4	10	58.1	19	10.3
5	消費者被害の保護に関する取り組み	56.4	30	46.3	34	10.1
6	観光地のネットワークづくりなど、観光産業の育成・支援	54.6	33	44.5	35	10.1
7	障害者の就労支援や福祉サービスに関する取り組み	56.4	31	46.7	32	9.7
8	雇用機会の創出などに関する取り組み	34.2	46	24.8	10	9.4
9	身近な地域における地域福祉に関する取り組み	61.5	22	52.4	28	9.1
10	高齢者の健康づくりや福祉サービスに関する取り組み	61.2	23	52.1	29	9.1
11	景観に配慮したまちづくりに関する取り組み	63.3	17	54.8	24	8.5
12	まちづくりや行政への市民参画に関する取り組み	63.1	19	54.7	25	8.4
13	海、河川、山林などの自然環境の保全	59.3	27	51.3	30	8.0
14	既存企業の支援や企業誘致など、工業の育成・支援	45.3	41	37.5	36	7.8
15	介護保険制度の普及や介護サービスの充実に関する取り組み	46.0	39	38.4	39	7.6
16	商業やサービス業の育成・支援	43.7	42	36.3	12	7.4
17	健康づくりや身近な医療環境の充実に関する取り組み	64.5	15	57.4	21	7.1
18	ゴミの減量化やリサイクルに関する取り組み	74.9	3	67.9	5	7.0
19	水道水の安定供給に関する取り組み	86.3	1	79.3	28	7.0
20	青少年の健全育成、指導等に関する取り組み	48.0	37	41.2	37	6.8
21	心を豊かにし生活に役立つ生涯学習の充実に関する取り組み	65.8	13	59.4	18	6.4
22	農林水産業の育成・支援	42.0	43	35.7	43	6.3
23	地域住民によるコミュニティ活動の支援に関する取り組み	68.5	9	62.5	3	6.0
24	名所や文化財の保護・活用に関する取り組み	73.1	4	67.5	7	5.6
25	生活排水・産業排水などの処理に関する取り組み	67.2	12	61.7	13	5.5
26	無秩序な都市の拡大防止と良好な市街地の整備	45.6	40	40.8	38	4.8
27	高齢者などが移動しやすい環境の整備	34.6	45	29.9	14	4.7
28	自然に親しめるレクリエーション施設や親水護岸などの整備	53.4	34	48.9	12	4.5
29	離島航路や島内交通の整備などに関する取り組み	58.0	28	53.5	26	4.5
30	男女がともに活躍するための啓発や支援に関する取り組み	64.6	14	60.1	17	4.5
31	人権教育、啓発活動など人権尊重に関する取り組み	68.2	11	63.9	10	4.3
32	ゴミやし尿の収集処理に関する取り組み	78.5	2	74.2	3	4.3
33	公園、緑地の充実・維持管理に関する取り組み	60.8	25	57.6	20	3.2
34	丸亀港における港湾やアクセス道路などの整備	63.2	18	60.2	16	3.0
35	消防や救急体制の整備、自然災害への備えに関する取り組み	70.4	7	67.5	6	2.9
36	芸術や地域文化の継承や振興に関する取り組み	64.2	16	61.3	14	2.9
37	墓地や葬儀に関する取り組み	72.2	6	69.5	4	2.7
38	スポーツ・レクリエーションの充実に関する取り組み	69.3	8	67.0	8	2.3
39	ケーブルテレビなど情報・通信基盤の整備に関する取り組み	61.6	21	60.6	15	1.0
40	国際交流や外国人が暮らしやすい地域づくりに関する取り組み	57.9	29	57.0	23	0.9
41	行政による広報活動、情報公開、個人情報保護に関する取り組み	62.8	20	62.6	11	0.2
42	公営住宅や宅地の整備に関する取り組み	52.9	35	53.1	27	△ 0.2
43	交通安全や防犯対策に関する取り組み	56.1	32	57.1	22	△ 1.0
44	鉄道、バスなどの公共交通の整備	39.5	44	41.4	36	△ 1.9
45	高速道路や国道、県道など幹線道路の整備	72.5	5	76.2	2	△ 3.7
46	市内をつなぐ一般道路の整備	61.2	24	65.7	9	△ 4.5
合計		60.0	—	54.7	—	5.3



※「満足」、「やや満足」、「不満」、「やや不満」の回答率(「分からない」、「無回答」を除く)で計算

4 自由意見

●問10. まちづくり全般に対する意見・要望

※丸亀市総合計画後期基本計画の政策体系で分類

I 身近な自然と歴史文化を未来に伝えるまちを創る	
1 地球の未来を思い、多様な自然を尊重するまち【自然との共生】	
1 自然環境の保全	
河川のゴミはいつまで放置するのか。土器川はゴミだらけです。	
金倉川の護岸工事でこれ以上木を伐採するのをやめてください。アオサギたちのねぐらが無くなってしまいました。	
その街に一步踏み込んだ時、道や川、溝、空地又は屋敷にゴミが散乱していると、その土地の品格が想像できる。清水川、飛来した発泡材、誰か捨てたビニール袋類、汚いです。県の管轄かもしれませんが、市内を流れる川であれば、市の顔が汚れているようで嫌です。吸殻一つない街は、気持ちが高く、犯罪も減り、ますます住み良い街になると思います。	
野焼きについて、田畑などで行われているが、広報などで注意の文を見ることがあっても、実際には近隣住民に何も配慮されることがないのが現状。家庭ゴミを焼いているところも多々あり、何の取締りもない。生活しているうえで、こうしたことが身近に迷惑しているが、すぐに動いてもらわないと確認できないと思う。注意の広報や、何か方法を探してもらいたい。	
2 環境に配慮した社会づくり	
エコシティ、スマートシティの計画・検討や新電力へ参入し、公共施設の電気料金低減を目指す。島に太陽光、小型風力など自然エネルギーを導入すべき。	
自然を壊してまで行うような太陽光発電はやめてほしい。	
3 廃棄物の適正処理と再資源化	
丸亀港での生活ゴミの不法投棄の取締りを強化していただきたい。	
ごみの回収時刻について、早いときと遅いときが分からないので、回る順番が分かると便利。	
ゴミ等、個々のマナーが全くできていない。	
4 緑のまちづくりの推進	
ここ数年で、富熊地区にたくさんの家が建ち並びました。今後も10軒ほど建つ予定です。富熊地区には、公園が少なく（富士見坂のみ）、子どもがのびのびと遊べる公園（広場）が欲しいです。子どものボール遊びの件で、近隣トラブルも発生しています。	
公園遊具の充実。バリアフリーも大切だが、これからの子どもたちの生活の充実を考えて欲しい。	
長年居住はしていませんが、公園が少ないのと、街灯が少ないというイメージです。前に居住していた自治体は、近くに公園があり、ちょっとした子どもとの遊びが自転車で行けました。今は車に乗らないとわざわざ行けません。	
地域に子どもから大人まで交流が持てる公園が欲しい。	
まるがめのシンボルであるお城の堀の水質改善、水循環ができる整備を早くして欲しい。かなりのイメージダウンである。	
丸亀城のお堀をきれいにして欲しい。	
身近に子どもが遊べる公園が欲しい。ボールも使えるような。	
小さな子どもたちが思いっきりボール遊びができるような広い公園をつくって欲しい。狭くてもいいから、走って遊べるような公園を増やして欲しい。道路で遊んでいると、とても危ない。高齢者だけでなく、これから成長していく子どもたちにもちゃんと目を向けてあげてください。	
100年、200年先の公園（明治神宮のような）、森林公園、市民の憩いの場があれば。	
公園をたくさんつくって欲しい。緑も多い方が良い。	
街路樹を毎年切っているが、夏になると木陰がなく秋の紅葉も楽しめなくなった。毎年木を切る必要はないのでは。	
子どもが遊ぶ公園が欲しい。パワーシティ丸亀のような。	
実家の近くには公園が歩いて行ける所に5つくらいあるが、結婚してこちらでは一つもない。子どもを遊ばせるのに実家に行ってますが。	
もう少し道に花があればいい。管理しやすいゼラニウムであれば土を選ばずにお金もかけずにきれいに咲きます。他県に行けば、道にきれいに花があり、丸亀にもあればなと思っています。	
丸亀城で子どもが遊ぶとき、もっとたくさん遊具があるといいなあと思います。あと駐車場も。でも、丸亀城は自慢のお城です。これからも守っていききたい、守って欲しい、大切にしたいです。	
2 まちの歴史・文化を学び、未来に伝えるまち【歴史・文化の継承】	
1 歴史的資源の保存と活用	
もっと歴史や自然に関して保護を強め、PRできれば良いのではないかと思います。	

お城をもっとまちづくりに利用すべきである。政治家は、未来のまちづくりにビジョンを表明すべきである。
駅前から商店街にかけて城下町らしい丸亀づくりをして欲しい。和を取り入れて、趣のある通町や富屋町になるといいです。
丸亀城について、施設・PR面で活用して欲しい。
丸亀城大手門の鉄釘部のサビ、汚れなど観光客にも優しいまちづくりを。
歴史・文化の豊かな町でとても魅力的ですが、それについての資料館が貧弱です。若い頃より思っていたことですが、資料館を大きくする場合、専用の茶室（お茶会用）があれば。
城のある町を重点に。歴史文化を大切に。
2 文化芸術の振興
文化面の講演が街中で開かれ、高齢者も行けるような施設を建ててもらいたい。
オーケストラやアマチュアバンドをして欲しい。
市役所跡地にコンサートホールを作って欲しい。駅から歩いて行けるホールは必要。
生涯学習の発表する場所を改善していただければと思います。猪熊美術館ももっと市民が利用できるようにと思います。
市民会館は、将来的に駅は移動しにくいから、難しいかもしれないが、現在の位置に近い方が利用者が多いと思う。
丸亀市民会館が3月までなので、同等の市民会館は欲しい。場所はもっと田舎でもいいので、希望します。
有名アーティストのコンサートが開催できる（年1回）と、人も集まり、若者も県外で自慢できるのではないかと思います。県外にアピール、自慢できる丸亀を目指して欲しいです。
市民会館は、場所を考えて建てて欲しいと思います。バスや車がウロウロなくていい場所で。

II 日常生活が営みやすくにぎわいと活力のあるまちを創る
1 日常生活が便利で快適なまち【生活環境の整備】
1 適正な土地利用と良好な住環境の形成
危険な空き家対策をして欲しい。
犬のフンの不始末が多い。散歩時には都会ではほとんどの人がビニール袋と新聞紙などを持ち歩いている。
市営住宅に外国人が多く、生活習慣の違いからトラブルが多いと聞きました。
郊外の農地が新たに開発され、宅地や商業地になることが多く、同時に市の中心部が衰退しきっていることに危機感を感じている。市の中心部を再開発するよう検討いただきたい。
丸亀市役所周辺は充実しているが、離れると道路等ゴミゴミしている。
通町や富屋町の商店街を再興するのか、あきらめて住宅街にするのか、その最終決断は今です。このままでは住宅街になる。もし再興するなら、目玉の拠点づくりです。
都市計画の方向性が見えず、その場しのぎが多い。やたら中心市街地が駐車場ばかりになり、かえって住みづらくなる。車なしで生活できる環境を目指すべき。
車社会から取り残された商店街を見ると悲しい。
ノラ犬がひどい。
商店街が全くだめになっており、人の空洞化が進んでしまった。市街地の住宅も空き家が多くなり、身近なまちに活気がないのは未来がないように感じる。
駅から丸亀城を訪ねるのに、途中シャッター街では寂しい。土地代や税金を下げれば、もっといろいろ活用できるのでは。駅に近く、住むにはとても便利なところなのに。
丸亀駅前周辺の活性化に早く取り組んで欲しい。
JR丸亀駅前、市内、その周辺に土産物店、食事どころが少なく、観光客等に対して不便な気がします。また、食事、買物するにもさっと駐車する場所が各所にない環境のため、郊外等のスーパーに出かけることになり、市街地は通過していくような状態ではないでしょうか。
丸亀駅周辺の商店街を元気にして欲しい。
商店街の活性化を図るよう、都市計画の再確認を願いたい。
シャッター商店街を、マンションやスーパーと合わせた人の出入りのある町にして欲しい。
丸亀駅周辺のアーケード街があるが、閉店している店舗ばかりで活性化したら良いと思う。
丸亀駅から市役所（商店街）までの整備をして欲しい。
丸亀港一駅（美術館）一丸亀城を中心線としたコンパクトシティを目指すべき。
公共交通の中心としての丸亀駅周辺のにぎわい創出を考えるべき。閑古鳥が鳴いているようではだめだ。
広告看板の適正化（実状とは大分違う）。

丸亀駅からお城までの間を、住民だけでなく外から来る人も意識したまちづくりをして欲しい。駅周辺に食事処（うどん・カフェ）が無く、駅周辺のホテルに泊まる人が困っている。市民会館をお城の前につくり、大ホール・小ホール・レッスンルームを備え、食事もでき、誰もが立ち寄れる空間にして欲しい。お城の前の広いスペースを有効活用して欲しい。無駄なスペースをつくった人の責任は問われないのでしょうか。
公共施設の建て替えの場合、あまり点在しないよう駐車場も広くとって欲しいです。
2 公共交通の充実
コミュニティバスの本数を増やして欲しい（夜8時までの営業をして欲しい）。通学手段（飯山方面に行く）が少ない。
丸亀への新幹線誘致と駅の整備を進めて欲しい。
コミュニティバスの本数が少なすぎる（20分に1本は欲しい）。
丸亀駅巡回通勤バスを充実させて欲しい。特に帰りは23時頃までを希望。現状の時間帯では通勤に使えない。
今は車の運転ができていますが、今後できなくなると思っていますので、交通手段の便（バス等の充実）をよろしくをお願いします。
市内バス路線の便数が少ないので多くし、高齢者の運転（自動車ほか）を減らす。
コミュニティバスの便が以前に比べ、悪くなった。
通勤手段において、東西インフラは整備されているが、南北が脆弱。車以外の交通手段の充実を図る。
年を重ねるごとに、外出度合いは減少していますが、今住んでいる所は海拔の高い団地です。世代が変わり、やはり交通手段の不便を感じる人も多いのではないかと思います。バスが来ていますが、いまいちコースもわかりにくい。病院へ行く便、帰る便も合いにくい。
飯山町は公共交通の不備が目立つ。バスがないので、タクシーによる出費がかさみます。
3 道路環境の整備
他県から転入したが、交通マナーが悪く、幹線道路でも歩道がきちんと整備されていない所が多い。まずは小中学生の通学路の安全性を確保してもらいたい。
道路を広げたり、施設等の増築が見受けられますが、それより先にやるべきことがあるのでは。道路も舗装するのであれば、間をあけずにご直してください。期間をあけて何度も通行止めにしたたり、掘る途中でストップされたら困ります。
子どもの通学路に関し、道路上に横断歩道有り、カラー表示化を今一度検証し、未整備箇所については、表示の明確化を推進して欲しい。
中方橋の復旧工事、時間がかかり過ぎ。
渋滞している道路の整備を進めて欲しい。
土器町で狭い道を車が近道として利用していて大変危険な状態。道路計画を再度見直すべき。
小学生の通学路が狭い。車が多く危険。
車歩道の分離、垂水橋の拡幅を希望します。
車優先のまちなのか、歩道が整備されておらず危険な道が多い。通学路も危険過ぎ、いつ大事故が起きてもおかしくないような道に不安を感じる。歩行者に優しいまちにして欲しい。
歩道幅を広げ、車いす他に対応する。
市内の道路整備が遅れている。幹線道路から一步入ると、曲がりくねった細い道が多い。
道路の整備をするのは良いが、歩道をつくることや、バリアフリーよりさらに一步進んだユニバーサルデザインを取り入れた整備をして欲しい。また、中方橋以外の橋は大丈夫なのか非常に心配である。
郡家町内の道路整備をして欲しい。
家の前の道はトラックがよく通るので、すぐデコボコになり、ドンドンとうるさい。舗装も悪いので、ロードノイズの少ない舗装にってもらいたい。飯山町に住んでいるが、家の周りはやたらとデコボコしているところが多いので整備して欲しい。
市内一般道路の整備。
とにかく道路工事が多すぎる気がします。年度末など特にそう感じます。行われている全てのものは、本当に必要な工事なのでしょうか。道路工事に無駄がないのか時折考えることがあります。
道路の整備が出来ていない。
まちのあちこちで、道路を広げる、延ばす工事を準備しておきながら、止まっている所が多く見られる。中途半端に止めるのではお金をかけても意味がない。早く工事を終わらせるようにして便利なまちを目指して欲しい。
クラボウ丸亀工場西側の道路は片側2車線のうち西側2車線は供用されていない（10年以上？）ので、駐車場と化している。よって丸亀市民の税金で付近のごく一部の者の駐車場を整備しているに等しい。不公平感をなくし、すみやかに全面供用してもらいたい。

金倉川のそばで生活しています。川沿いの道の両側の草がのびて夏には道幅が狭くなります。夏には見回って2,3回は草刈りをしてもらいたいです。見回りをもう少ししてください。
仕事をしていると、朝と帰りの車の混雑は気になりますが、仕方ないでしょうか。
子どもの通学路など、歩道の整備をして欲しい。
市内の交通渋滞の解消、道路を拡張して車のアクセスを良くして欲しい。
通学中の小学生の列に自動車が突っ込むなど、児童生徒が交通事故に巻き込まれる事案が全国で発生している。飯山北小学校周辺の道路では、交通量が多いにも関わらず、歩道の整備が不十分な箇所が多く、その対策が急がれる。また、国道438号線の整備に伴い、通学路が分断されることになるため、事故発生が危惧される交差点を児童生徒が通行しなくてもいいように、歩道橋を何箇所かに整備するようお願いしたい。
4 水道水の安定供給
—
5 生活排水処理施設の整備
川の汚れがひどいので、生活排水の浄化処理が必要。浄化槽や集落排水処理、下水道の整備が急がれる。農業用水路に生活排水が流れ込み、環境が年々悪化、農業離れにもつながっている。
飯野地区に20年住みますが、下水道が整備されないのはどうしてですか。
2 活力とにぎわいに満ちたまち【産業の活性化】
1 農林水産業の振興
農業用水池に発生する苔対策（水質改善）の取り組みを要望する。ため池から流れ出た苔が、住宅地を流れる農業用水路に溜り、害虫・悪臭が発生し、不衛生な状態が生起しているため。
2 商工業の新興
商店街を何とかして欲しい。
商店街の再構築をして欲しい。
イオンなどの大型チェーン店を安易に誘致して、地域経済を圧迫する取り組みを見直すべき。
垂水は農地は多いが、実際は農地は有効活用されていない。であれば、香川は災害が少ないと行政がアピールして大手企業を誘致して欲しい。商業やサービス業の育成・支援はするものではない。利益になるなら自ずとできていく。
駅前の老朽化したアーケードの屋根の改修を望む。
3 観光の振興
市街地を活性化し、祭りの日だけでなく、土日も多くの人が集まる町にしたら今後のために良いと思います。
観光資源の見直し、特徴をアピールできるまちづくり。例えば、観光他での成功例を検証し、丸亀市に何を取り入れるべきかを検討する。特区的な観光地、産業地域の作成。モデルケースとなるような整備されたまちづくり。日常的に人が来なくなる、移住したくなるようなまちを構築する。
丸亀城の近くに駐車場が少ない。県外から来られた方が困っているのをよく見かけます。
本当にお城まつりをやめてください。仕事をしているのに、強制的に子どもたちを進行させたり迷惑です。踊っている人たちは嬉しいかもしれませんが、周囲は迷惑しています。
ボート場にかなりのお金が使われているように見える。丸亀城に遊びに行っても、お茶を飲める場所もない。市外から来た人にも喜んでもらえる町になって欲しい。
丸亀城を中心とした観光活動を充実させ、市の発展に努めて欲しい。丸亀駅よりお城までの道路を江戸時代風にし、他には見られない、丸亀独自のまちづくりをして欲しい。
観光は歴史と自然アピールが一番である。
古い考えを持った人が多く、お城、うどん、骨付鳥などの資源がありながら、活かされていない。
商店街の閉鎖的な雰囲気や交通の便の悪さ。丸亀には活気を感じない。お城まつりも縮小が続く。楽しさがある街には思えない。
丸亀に住んでよかったと、後々思える思い出が残るイベントが欲しい。
丸亀港フェリー待合所の鼻をつくような悪臭の改善を図っていただきたい。観光面からも良くありません。
4 雇用の促進
ビジネスオフィスビルを建設して欲しい。
若い人たちが、学生生活は県外に出たとしても、また香川に戻ってきて住みたい、働きたいと思えるまちになるべき。充実した働き場所、買物できる場所が必要だと思います。
働く場の増加、若者が来ないし定着もしない。働き場所、働ける環境づくりを。
地域に根ざした産業（農林水産業、観光業）の振興により、活力のある丸亀市を実現できれば良いと思っている。

Ⅲ 誰もが健康で安心して暮らせるまちを創る
1 災害や犯罪から人や地域を守るまち【防犯・防災】
1 災害に強い都市基盤の整備
河川の土砂などを行政で取り除いて欲しい。大きい川など住民の力では片付けようがない。用水路の補助事業など、もっと活用しやすいのが良い。昔から用水路がある道に隣接する田との境界など、管理すべきは誰？と思う所もあり、今後若い人たちに代替わりしたら、荒地と成り果てると思います。そうしたことを踏まえての整備、対応策を考えて欲しい。
土器町東に住んでいますが、川底を高くする工事が目立ち、台風になれば土手を越水して水の被害が出るだろうと心配しています。工事指示者をしっかりと記録しておいてください。
南海トラフ地震に対する津波防潮堤や液状化対策を進めるべき。
2 危機管理体制の強化
自然災害発生時に円滑な救助体制が整っていないと思いますので、地域で訓練をして欲しいです。地震や台風などの災害が起きた時に、丸亀市から早急に被害情報や支援情報などが市民に伝えられるようにして欲しいです。
いつ自然災害が起こるか分からない昨今なので、住民一人ひとりがどのような準備をし、どこに避難すれば安全なのかなど事前に理解できるよう、緊急時の救助体制や非難体制を広報誌やホームページ、マップなどを作って教えて欲しいです。
3 消防・救急体制の充実
—
4 交通安全・防犯・消費者保護対策の充実
子どもの防犯対策として、子どもSOSの増設、表示化の推進を図って欲しい。小学校へ通学している子どもの安全と防犯への取り組みの強化をお願いします。
対策していると思いますが、交通マナーがひどすぎます。これ以上事故が起きないようにお願いします。
栗熊の交番の近くにある信号のある交差点の幹線を通る車の交通違反運転が目にあまる。徒歩で渡る者は十分な注意が必要。ときには立ち番をお願いしたい。このままではいつか死亡事故発生につながると思われる。
飲酒運転を平気でしている人を多く見かけるが何故？
交通マナーが悪すぎます。香川に移住してこれだけはとても不安です。子どもが無事に帰ってくることを毎日願っている日々です。信号の間隔が長すぎ、点滅信号が多すぎます。
丸亀高校、マルナカ、中山病院の交差点は、マンションや住宅が増え、交通量が昔に比べて増加していると思います。通行するたび非常に危険を感じています。何か対策が必要と感じています。
垂水町以南に街灯が乏しい。
とにかく交通マナーが最悪なので、もっと警察による取締り強化を願う。これを改善することで、次の一步が踏み出せるといっても間違いはないと思う。
防犯、防災の面からして市内に該当が少ないと感じる。各町などにアンケート等を行い、街灯整備をお願いしたい。
交通安全の話に来てくれるのはいいが、すぐ壊れるような配布物は、お金の無駄遣いなのでやめてください。
安心、安全で生活できる環境づくりを。
県外から引っ越してきましたが、香川の道路は交通事故が起こりやすいところが多く、運転しづらいところがたくさんあります。
丸亀だけではないのですが、交通マナーの悪さは本当にひどいと思います。安心して生活するためにも、全体及び個人への啓発が必要だと思います。
2 住み慣れた地域で健やかに暮らせるまち【保健・福祉】
1 高齢者福祉の充実
介護を認めて入所する人は保護されて、介護保険料を納めているが75歳以上の二人暮らしをしている者は介護を受けるまで何もしないのはおかしい。年に1回くらい様子を見るなり聞くなりして、介護が必要になる前に少しでも何をしたら介護を受けずにいられるか知ってもよいのでは。
今後高齢者増を考えると、いたるところに老人の憩いの場所をつくる必要がある。
特別養護老人ホームの施設は格差があり過ぎる。年金生活に合致したホーム建設（共同）の増加を望む。
80歳を過ぎますと、意欲はありますが、体がどこことなく…。病院に行く時タクシー等利用すると金額が多くなりしんどくなって、色々な所も市の楽しそうな行事も参加できません。
高齢者の日常生活に良いまちづくり。
介護保険料が高すぎる。

近所のスーパーが閉店し、お住まいの高齢者の方々の買物が大変そうです。先のことも考え、タクシーの無料券を配布するとか、買物バスを走らせるとか、もっと高齢者の立場になって考えてください。いずれは私たちも皆年をとるのですから。
老人に車の免許を更新しないように家族は言いますが、タクシー割引など、誰もが気軽に利用できるようにしたら、行動範囲が広がる。楽しく皆と会う日ができる。健康で長生きしただけでは、老人は満足しないのです。
更なる高齢化に対する高齢者受入施設の充実、高齢者に対する思いやり、人にやさしいまちづくりを。
老人ホームをつくり、定員数を増やす。
2 障がい者福祉の充実
公園を増やして、障害者にやさしい町にして欲しい。
3 暮らしを支える福祉の充実
かかりつけ病院の話もありますが、年金生活ではよほどでない限り、病院にも行く回数が減るのでは。
高齢者・障害者が相談する窓口は充実していますが、高齢者・障害者の方とのトラブルを抱えた近隣住人が相談する場がありません。相手の思い込み等で不当な扱いをされても、耐えるしかない状態です。それでも相手に親切にして下さいと言われても困ります。
4 地域保健・医療の充実
—

IV 心豊かな人が育ち誰もが生きがいを感じるまちを創る
1 互いの人権を尊重し、個性と能力が発揮できるまち【人権】
1 人権尊重社会の実現
—
2 男女共同参画社会の実現
—
2 元気で心豊かな子どもたちが育つまち【子育てと教育】
1 子育て支援の充実
子ども医療に関しては助かっています。
保育所などの駐車場は、土の所も多く、雨の日の月曜日（ふとんを持って行かなくてはならない）などは大変汚れてしまいます。子育て支援は目に見えて充実していると思いますが、そうした実際に今現在子育てをしている人達の意見をもっと聞いて下さい。保育所、幼稚園にアンケート箱を設置するなど。
子育てしやすいサービスが不十分です。子育てファミリーサポートの申込一つをとっても、チラシはたくさん配られているのに、利用しようと申し込んでも利用できない状態である。
教育、福祉に対しての力の入れようが他市と比べてとても低い。非常に働きにくい市である。働いても保育料で大方持って行かれるが、どういうことか。坂出市は、第二子から無料になっている。丸亀はボートなどで市としては経済効果もあるはず、市民としてはとても疑わしい感じである。
保育士等の職員増加を要望したい。他市に比べて給料が安すぎる。また、仕事をしていないのに保育所に入所している人もいる。何のための保育所か。それでは充実しているとは全然言えません。その人が入所しているために本当に困っている人がいることを市の職員として考えて欲しい。
子育ての直接的経済支援の強化。独身世帯の税負担を増やし、子どもがいる家庭に還元する。
保育、児童会の預かり時間をもう少し延ばして欲しい。正社員やパートの時間のやりくりが大変です。
ひとり親家庭になった場合の話を市役所に聞きに行ったが、色々な所に行かされて、うんざりした。詳しい知識を持った人がおらず、対応もいまいち。真剣に聞いてもらえず、こんな対応なら、市外に出た方がまし。相談時間や日数など増やして欲しい。
子育てに対する企業への協力指導を強化して欲しい。
待機児童が多いので、保育所をつくり定員数を増やす。
子育て支援が充実していてとても助かっている。これからも子育て支援に力を入れて欲しい。
2 学校教育の充実
旧丸亀市内ばかり小学校がきれいになっていて、飯山町まで行き届いていない気がする。
義務教育中の子どもの携帯電話・インターネット利用について、条例などで制限を設けて欲しい。便利ではあるが、いじめや仲間外れの原因になると思う。自分に子どもが出来た時、不安要素になる。義務教育中にスマートフォンは不必要と思う。電話・メール機能で十分。
小学校が2校近くにある場合は、自由校区など作り、どちらでも選択できるようにして欲しい。
教育において、指導者を育成できていない。
子どもたちが楽しく未来に希望を持って過ごせる教育制度の徹底化。

<p>教育や子育て支援の充実が人口増加、市の健全化に繋がると思います。 共働き夫婦が、子ども（特に幼児）、小学生を預けて、働けるよう受入施設の充実を図ってもらいたい。</p> <p>子育て世代をサポートするような、若い世代が住みやすい、働きやすいまちづくりを目指して、人口を増やすことがまず課題だと思います。そのためには、しっかりした自立をうながせるような教育を教育現場に求めたいです。</p> <p>子どもの教育を学校に任せ切りにするのはいけない。躰も含め、礼儀でも最低レベルの教育は家庭にあることをもっと告知するべきと思う。</p>
<p>3 市民が生きがいをもって暮らせるまち【生涯学習】</p> <p>1 生涯学習活動の充実</p> <p>生涯学習の発表の場を設けて、文化面の充実をアピールし、力を入れて欲しい。地域交流にもなるのではと思います。</p>
<p>2 スポーツ・レクリエーション活動の振興</p> <p>女子サッカーのファンです。なでしこリーグ等を丸亀へ迎えてくださると嬉しいです。</p> <p>丸亀市民球場ができて野球関係者は喜んでいますが、他市町から行き方がわからない、駐車場が少ないと、よく苦情を受けます。高校野球四国大会も丸亀市民球場を利用していますが、県外の方がたくさん迷子になり残念な限りです。球児たちは、県営球場より丸亀で試合したいと話してくれますが、道路と駐車場の整備を早くしないと、夏の高校野球やガイナズの試合など、観客が困っているし、せっかくの球場がもったいないと思います。</p> <p>スポーツ・レクリエーション施設は新しいものをつくらず、既存のものを活用して欲しい。</p> <p>陸上競技場、四国Cスタは箱もの行政ではないのか。プロの試合・イベントに使われていないのではないか。</p> <p>香川県立丸亀競技場を最大限活用して欲しいと思います。</p> <p>丸亀の市民プールが取り壊されて何年か経ちましたが、新しいプールの建設を待っているこどもがたくさんいます。大会もできるプールをまた作っていただきたいです。丸亀オープンスイムを楽しみにしていますので、新設を計画して欲しいです。</p>

<p>V 自治・自立のまちを創る</p> <p>1 市民がつくるまち【市民自治】</p> <p>1 情報の発信と地域情報化の推進</p> <p>行政の取り組みは、広報誌だけでなく、市民にもっとわかりやすいように、はっきり細やかに伝えて欲しい。</p> <p>広報誌は各家庭に配っていただいて良いと思います。</p> <p>情報が届かない。どのように各家庭に伝わるか考えて欲しい。</p> <p>行政の取り組んでいることを簡単に分かりやすく知らせて欲しいです。県報、市報に全部目を通す人は少ないと思います。</p> <p>まちづくりの各項目について、自身がその立場になって経験してみなければ分からない、知らないことが多いと思いますので、広報の充実をお願いします。</p> <p>丸亀市内でどの様な取り組みをしているか見えていないので、HPなどで確認していきたいと思います。できればわかりやすいHPがありがたいです。</p> <p>市が何を行っているのかよく分かりません。</p> <p>毎日生活していて感じる公共の場の不便さや改善して欲しいことなどを小さなことからでも吸い上げる現代版の目安箱のような、意見を示せるシステムを作りたい。</p> <p>ケーブルテレビは有料という認識なので、一部の人しか見られないツールで情報発信するのは少し非効率に感じる。</p> <p>教育、健康、福祉に対しての取り組みが見えない。どんなふうに取り組んでいるのかわからない。</p>
<p>2 市民参画と協働の推進</p> <p>若者が集まる場所が少なく、若者を先導するリーダーがいない。中年層が若者を見て見ないふりをしている人が多いように思える。中年層の積極的な行動を期待する。</p> <p>平日にするワークショップや活動が多いような気がするので、土日でも参加できるような活動を広げてもらいたい。</p> <p>まちづくりには市民一丸となって取り組まなければなりません、動員の手法を考えなければ空振りになると思います。</p> <p>企業等による清掃などのボランティア活動が不十分では。</p> <p>子どもも大きくなり、仕事も丸亀以外だと、丸亀市に関わるのが何もない状態です。自治会にも入っていないから地域住民との交流がありません。45歳から60歳くらいまでの家庭は、仕事中心が多いと思うので、もう少し丸亀を身近に感じる取り組みをして欲しいと思います。</p>
<p>3 地域コミュニティの活性化</p>

高齢化社会における自治会のあり方について、色々問題がある。一人暮らしの老人が増える生活を見るにつけ、自分の将来も不安がある。
地域の人の交流の場、意見交換の場が必要だと思う。行政主体でイベントを催し、昭和の頃に行われていたような地域の人の連携が大切。古きよき時代へ。
コミュニティの運営、活動が市民に行き渡っていないと思う。
自治会の組織運営について、会員世帯の高齢化により、未加入世帯、脱退者が増加傾向にあり、既に自治会を解散した所も多数あります。何とかならないものかと思えます。
飯野コミュニティセンターは古いままで、地震対策も出来ていませんが、どのような方針なのでしょう。
地域住民のコミュニティ活動によって、活力のある丸亀市を実現できれば良い。
それぞれのコミュニティでまちづくりの温度差があるのは否めないが、市の職員や幹部の方々の意識がどれほどのものかわからない。机上の空論のような気がする。実際に現実が把握できていないように思える。これは国・県も同様だが。識者の考えも実地がわかっていないように思える。
自治会に入ろうという看板をよく見ます。約10年くらい加入していましたが、ほぼメリットはありません。挙句の果てには、役員選出で大揉めになり、高齢や経験者ばかりでなり手はいない、若者や入会した人ばかりが負担になり、やり方や制度に不満、退会せざるをえませんでした。
人と人の連帯感がもう少し必要。
地域の集まり、総会など若い人があまり出席していないように思えます。若い世代にも、自分の住む丸亀を良くするために、積極的に色々な取り組みに参加して欲しいと思います。
マンション・アパートが増えているが、地域（自治会）に入っていない方も多いので、色んな面で困ることがあります。
近隣住民とのコミュニケーションが希薄になっていますので、人と人とのつながりを密にできるような環境や、昔のような助け合いの機会が持てるような住宅のつくり方、工夫。インターネットより隣の人に頼れるようなまちになればいいですね。
4 広域連携・交流活動の充実
周辺のまちとの関係性が重要。
何かに特化したまちづくりを目指しては。例えば、子育てに重点を置くなら、完全無料化を目指すとか、そうすれば移住者も増えたり。離島のリノベーションで移住者を募るとか、被災地の方を誘致するなど。
国際交流など、生活外での変化が欲しいです。
英語、英会話を教えるのが上手い真面目なアメリカ人の若者がおり、仕事を探しています。市の支援により、市の英語教育のレベルが向上すると思います。
外国人のマナーの悪さを感じます。
外国人が市内に増えてきているようです。外国人犯罪も増加してきていますので、子育てをする際、安全性が最も心配です。また、外国語、特にアジアや南米の言語や文化を学ぶ機会を学校教育や地域教育でたくさん作ることが大切だと思います。国際化社会に向け、早急な対応が求められていると思います。
2 市民とともに改革するまち【行政改革】
1 財政運営の効率化
無駄な税金（血税）の使い方はやめて欲しい。
2 行政運営の最適化
徳島の「葉ビジネス」の講演が学習センターでありましたが、参加聴衆が少なく情けなく思いました。本気なら情報を広く告知し、市職員は全員が出席するくらいでないと丸亀市の個性、豊かなまちづくりはできません。香川県下のまち歩きに参加しましたが、坂出市が一番良いと思いました。市職員も積極的に他市の良い所を知るべしです。
以前、自宅近くに周辺住民でカーブミラーの設置をお願いしたことがあります。数ヶ月経過し、やっと付いたと喜んでいましたが、ミラーの位置が見えづらいところにあり、残念な気持ちになりました。まずは、職員の仕事に対する姿勢、意識を改善して欲しいです。
市役所の人員を削減すべき。看板の設置場所確認に4人も来た。
役所の人の不祥事など、モラルの悪い人がいるので改善して欲しい。
その他
人口増加のための政策を推進し、現状は人口減少を前提としたまちづくりを目指すべき。
娯楽施設を増やすべき。
他市町のものまねではいけない。
市民税が高い。
市が何を指して、今何をしているのか分からない。抽象的な目標ばかり掲げて、具体的には何も進んでいない気がする。
昔に比べたらよくなっていると思いますが、バリアフリーをもっとしなければならない。

<p>全てをやり遂げることは簡単ではないので、国政とは違う取り組みを市でやると個性あるまちづくり、他の市でもあまりしないような取り組みにつながる。スポーツが盛んなまちとか、丸亀で住みたいと思えるような、定住できるようなことをして欲しい。</p>
<p>施策項目の内容が大雑把過ぎて判断できない。もう少し具体的に書かないと現状も判断できない。</p>
<p>市議会議員の教育活動をするか、報酬を二分の一にしても市政を考えてもらえる人を市政で育てていくべきではないだろうか。</p>
<p>経済、環境、福祉等具体的な取り組み内容がわかりづらく、アンケートが回答しにくいと思う。より良いまちづくり計画策定づくりに力を注いで、冊子づくりのみに終わるよりも、今までの計画から強化に向け、充実を図るよう進めていって欲しい。</p>
<p>整然とし、かつ、将来をしっかりと見据えた計画の実施、スマートな都市計画、創造力ある行政のリード、振り返って市政を評価するとき、あまり感心しない事柄があまりに多く、そのレベルに失望する。</p>
<p>空ぶかしする暴走族まがいのバイクなどを取り締まるべき（野放しにしている感が大いにある）。夜中暴走族のバイクの音がうるさいので対策して欲しい。</p>
<p>丸亀城を中心とした観光都市を目指すのか、工業都市を目指すのか。田園住宅都市を目指すのか。目指すものが住民としてよくわからない。</p>
<p>学校や公園が旧市街地に片寄っている。人口が比較的増えている土器町東や飯野あたりをもう少し充実して欲しい。</p>
<p>次世代が育たなければ未来はないと思いますので、次世代に対する事への取り組みを求めます。</p>
<p>人口を維持するためにも、働き手＝子育て世代が丸亀市に住みたくなる目立つ政策を打ち出してください。</p>
<p>子どもや高齢者が住みやすい支援や環境に力を入れてもらいたい。</p>
<p>健全なイメージがあるが魅力に乏しい。活力のある、若者が集まるまちを希望する。</p>
<p>お水がおいしい、美しい自然と文化が心地良い、そしてセキュリティ面も安心、子どもたちの教育の向上、ワクワクするほどのショッピング施設、どこにも負けない日本一のまちになって欲しい。</p>
<p>子どもや高齢者、障害を持つ人など、弱者の立場に立って、住みやすいまちづくりを進めて欲しい。若者が働きやすい、子育てしやすい、魅力あるまちづくりを期待しています。</p>
<p>丸亀市は、中讃都市の中心として、市外の皆様には「城が見える町」「城がある町」として、自然との共生を中心に、市内への交通アクセスなど、人が来やすくすることが大切と思われる。</p>
<p>質問があまりにも多いのと現実ほとんど体験していないので、全ての返事が大変困った。質問が悪すぎる。もっと具体的に、かつ質問数を減らした方が良い。質問内容が個人向きではない。</p>
<p>若い人の定住を促すため、保育サービスを向上させ、Uターン・Iターンを持続的なものにするために、大手企業の支社・支店等の誘致をもっと進めるべき。高松への人口流出を防ぐこと。</p>
<p>自然や教育（子どもがみんな成人しているため）、安全等分らないことが多い。介護サービス等、高齢者のことはこれから知る機会が多くなっていくと思っています。</p>
<p>より良い生活のために、雇用の安定、食、水（上下水道）等、他にもたくさんあると思いますが、教育に取り組むことは重要だと思います。</p>
<p>市町合併してから、旧丸亀市時代より税金等、一般市民には利点が全くなくなっている。</p>
<p>年をとった市議会議員を減らして欲しい。</p>
<p>まちづくりには、時間、人、金、労力が必要不可欠である。他の都市のまねをせずに、丸亀市らしいまちづくりをゆっくりとしたペースで、自然体で考えて欲しい。</p>
<p>公共工事にお金をかけ過ぎだと思う。</p>
<p>合併後は田園地帯が増えたので、行政も、旧市街、新興地域、農村地域の3つに分かれた施政が望まれるのでは。</p>
<p>新市庁舎が現在のところできると聞いて、ショックを受けています。みんなの意見には従いたいと思いますが、遠い富熊から行くのは大変です。</p>
<p>庁舎は質素に機能重視、無駄な植樹等はやめて、駐車場を広く。手入れが必要の無い施設づくりを。モニュメント、噴水、池等も必要なし。</p>
<p>ふるさとなので、離れた地に住むようになって、ずっと応援したいし、繁栄していて欲しい。</p>